

資料編

目次

- I. 基本構想策定資料【基礎調査による現状把握】
- II. 財政計画策定資料

目 次

Ⅰ．基本構想策定資料【基礎調査による現状把握】

1. 人口構造	1
2. 地域構造	2
(1) 通勤・通学流動	2
(2) 道路交通体系	3
3. 土地利用	4
4. 情報通信基盤	5
5. 生活環境	6
(1) 居住環境等	6
(2) 上水道・生活排水処理、ごみ処理	7
6. 産業構造	8
7. 農業	9
8. 工業	11
9. 商業	13
10. 観光	14
11. 医療・保健	16
12. 福祉	18
(1) 高齢者福祉	18
(2) 児童福祉	20
(3) その他福祉	21
13. 学校教育	22
14. 生涯学習・文化	25
(1) 文化スポーツ施設	25
(2) 文化財	27
15. 行財政	29
16. 1市2町の現状把握からみた主な問題点	30

Ⅱ．財政計画策定資料

1. 合併の効果	32
(1) 財政計画と合併しない場合との歳入・歳出の比較	32
(2) 合併後10年間の歳入・歳出の合計額の内訳	33

本資料の現状分析にあたっては、武雄市・山内町・北方町、1市2町（武雄市、山内町及び北方町のデータを集計しています。）、小城地区の合併自治体、白石町及び佐賀県のデータを比較しています。

小城地区（平成17年3月1日合併予定）
（小城郡合併協議会）

小城町・三日月町・牛津町・芦刈町

白石町（平成17年1月1日合併）

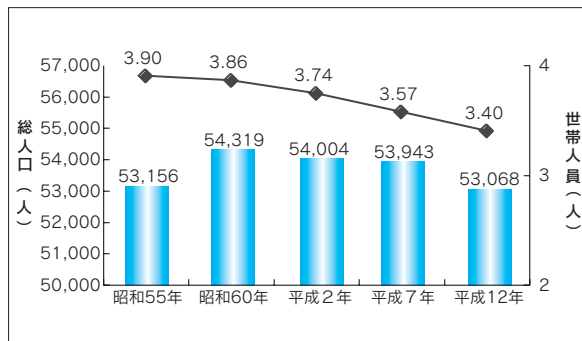
旧白石町・旧福富町・旧有明町

I. 基本構想策定資料【基礎調査による現状把握】

1. 人口構造

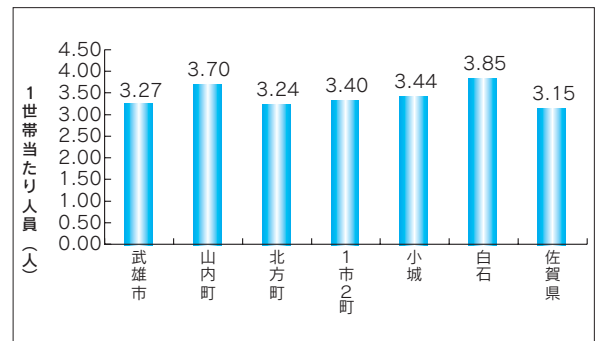
- ・1市2町の人口は、昭和60年をピークに減少傾向にあります。また平成12年国勢調査人口は、武雄市では若干増加していますが、山内町、北方町では減少しており、1市2町全体をみると今後も減少していくことが予測されます。
- ・1世帯当たりの人員は、1市2町全体においては県平均を上回っていますが、全体的に核家族化が進行しているといえます。
- ・1市2町の年齢3区分人口で、老年人口比率において県平均を上回っており、県内でも高齢化が進行している地域といえます。

図 1市2町の人口・世帯人員の推移



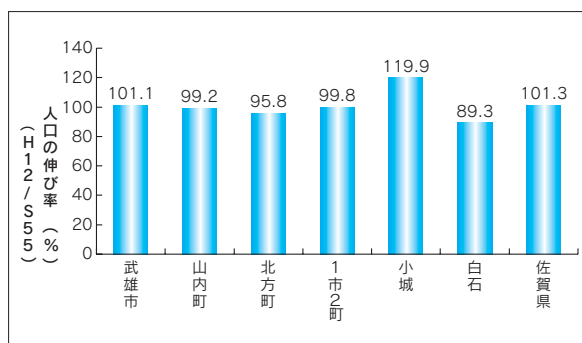
資料：国勢調査

図 1世帯当たり人員の比較(平成12年)



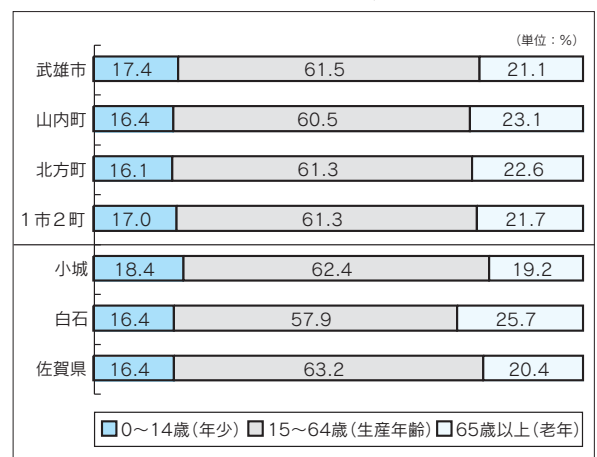
資料：国勢調査

図 人口の伸び率 (H12/S55)



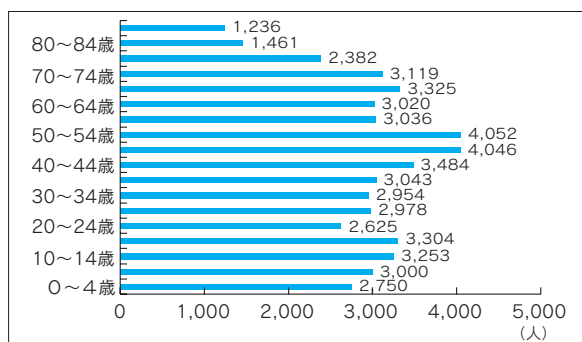
資料：国勢調査

図 年齢3区分の比率(平成12年)



資料：国勢調査

図 1市2町における5歳階級別人口(平成12年)



資料：国勢調査

2. 地域構造

(1) 通勤・通学流動

- ・武雄市へは、山内町、北方町から多くの通勤者が流入し、また、山内町、北方町へも武雄市から同等の通勤者が流入しており、武雄市を中心に日常生活圏が形成されているといえます。
- ・武雄市へは、山内町、北方町から多くの通学者が流入しています。
- ・1市2町は、伊万里市や杵島郡、藤津郡などとの結びつきも強く、1市2町の地域外との交流・連携にも十分留意する必要があります。

表 通勤流動（平成12年）

	自市町内の通勤者		流 出 先			流 入 先		
	人数(人)	構成比(%)	市町名	人数(人)	構成比(%)	市町名	人数(人)	構成比(%)
武 雄 市	11,348	66.1	1佐賀市 2伊万里市 3北方町 4山内町	725 706 626 511	13.7 13.3 11.8 9.7	1山内町 2北方町 3嬉野町 4塩田町	739 692 617 584	11.9 11.1 9.9 9.4
常住就業者	17,177		県内計	5,292		県内計	6,229	
山 内 町	2,253	46.1	1武雄市 2有田町 3伊万里市 4佐賀市	739 567 473 111	30.8 23.6 19.7 4.6	1武雄市 2有田町 3伊万里市 4嬉野町	511 170 160 54	43.0 14.3 13.5 4.5
常住就業者	4,890		県内計	2,399		県内計	1,188	
北 方 町	1,930	45.8	1武雄市 2佐賀市 3大町町 4多久市	692 322 297 157	31.3 14.6 13.4 7.1	1武雄市 2大町町 3白石町 4江北町	626 268 137 128	32.4 13.9 7.1 6.6
常住就業者	4,211		県内計	2,209		県内計	1,935	

*通勤者は15歳以上就業者を対象に算出しています。

資料：国勢調査

*ランキングは上位4位までの掲載とします。

表 通学流動（平成12年）

	自市町内の通学者(人)	構成比(%)	流 出 先		
			市町名	人数(人)	構成比(%)
武 雄 市	955	52.9	1佐賀市 2有田町 3嬉野町 4塩田町	282 95 88 83	34.9 11.8 10.9 10.3
常住就学者	1,805		県内計	808	
山 内 町	84	14.3	1武雄市 2佐賀市 3伊万里市 4有田町	178 76 73 69	36.1 15.4 14.8 14.0
常住就学者	589		県内計	493	
北 方 町	73	14.6	1武雄市 2佐賀市 3大町町 4白石町	147 94 44 41	36.0 23.0 10.8 10.0
	499		県内計	408	

資料：国勢調査

*通学者は15歳以上を対象に算出し、流入数については若干名のため、流出先のみとします。

*ランキングは上位4位までの掲載とします。

(2) 道路交通体系

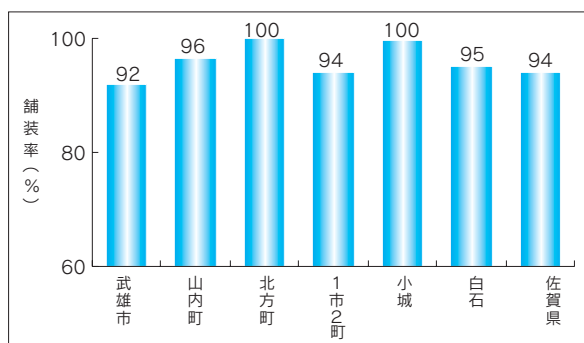
①広域交通基盤

- ・ 1市2町には、長崎自動車道及び西九州自動車道のインター及びJR佐世保線の各駅があり、広域交通の要衝の地となっています。
- ・ 将来は九州新幹線長崎ルートを整備（武雄温泉駅）が予定され、交通の優位性により通勤圏域が拡大し、交流人口が増加すると考えられます。
- ・ 交通の優位性が高まることで、観光、企業誘致などが進展し、県西部の中心都市としての役割を果たすことが期待されます。

②道路交通基盤

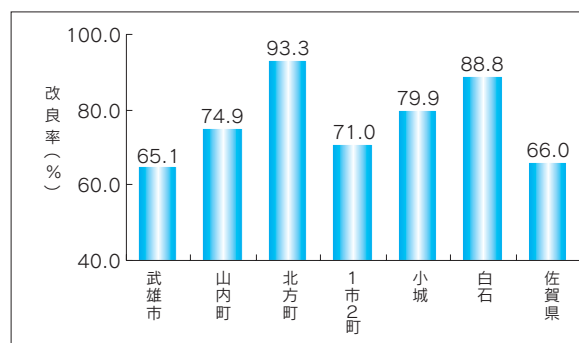
- ・ 1市2町全体の市町道の舗装率は佐賀県平均並みで、改良率については、佐賀県平均よりも若干高くなっています。小城地区・白石町と比較すると道路舗装率、改良率共に低くなっています。
- ・ 1市2町で比較すると、道路改良率は市町間で大きな差があり、武雄市が65.1%で最も低くなっています。

図 道路舗装率（平成14年）



資料：「市町村財政概要」

図 道路改良率（平成14年）

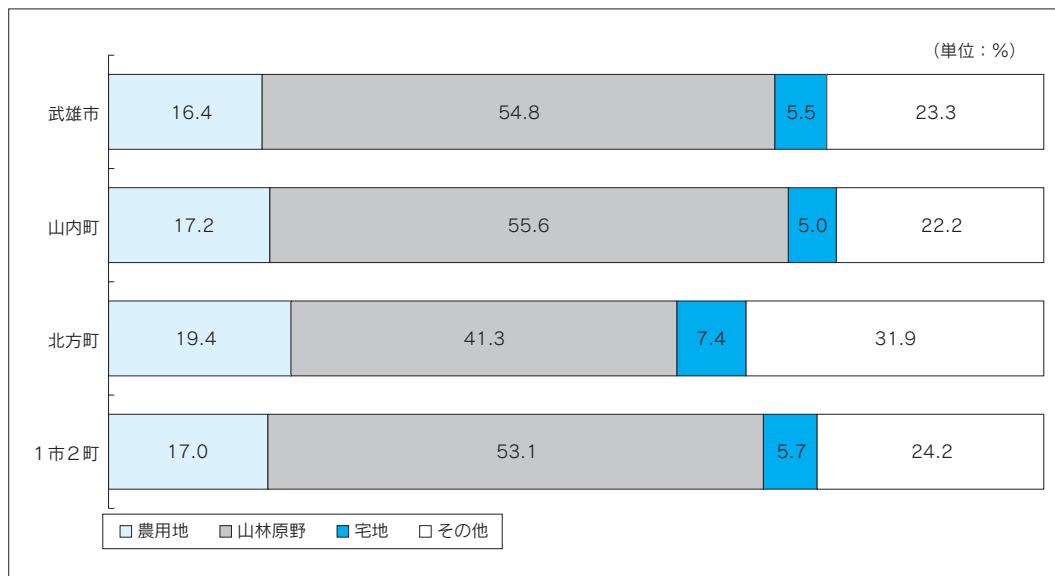


資料：「市町村財政概要」

3. 土地利用

- ・土地利用状況は、総面積のうち農用地が17.0%、山林原野が53.1%、宅地が5.7%、その他が24.2%となっており、山林原野が総面積の半分以上を占めています。
- ・山林原野の中には、八幡岳、黒髪山、杵島山等の山地や六角川、松浦川などの河川があり、豊かな自然環境を有しています。
- ・1市2町は豊かな自然に恵まれていますが、その一方で、台風や豪雨などによる土砂崩壊などの災害、河川の氾濫の被害が発生しています。このため、自然環境の保存・保全を図るとともに治山治水事業などによる災害防止に努めることが求められています。
- ・平地の割合が比較的に少ないことから、自然に配慮しながら、計画的、効率的に土地利用を図ることが求められています。

図 地目別土地利用割合（平成15年）



資料：市町資料

表 平成になってからの主な災害による被害額（平成15年）

	災 害 期 日	名 称	被 害 額
武雄市	平成2年7月2日～3日	梅雨前線豪雨災害	76.6億円
	平成3年7月29日	7月豪雨災害	6.7億円
	平成5年8月19日～20日	8月豪雨災害	4.7億円
	平成7年7月2日	梅雨前線豪雨災害	3.7億円
山内町	平成2年6月29日～7月2日	梅雨前線豪雨災害	10.4億円
	平成3年9月13日～14日、9月27日	台風17・19号災害	3.6億円
	平成5年8月9日～10日、8月17日～20日	台風7号・8月豪雨災害	1.6億円
	平成7年6月30日～7月6日	梅雨前線豪雨災害	1.3億円
北方町	平成2年7月2日～3日	梅雨前線豪雨災害	17.4億円
	平成3年9月13日～14日、9月29日	台風17号・19号災害	3.1億円
	平成5年8月19日～20日	8月豪雨災害	2.6億円
	平成7年7月2日	梅雨前線豪雨災害	1.4億円

資料：市町資料

4. 情報通信基盤

- ・1市2町ともCATVが整備され、ブロードバンド環境でのインターネット接続が可能となるなど、情報通信基盤は高い水準となっています。これらを活用し、行政、健康・福祉、防災、生涯学習などのシステム整備による市民サービスの向上が期待されます。
- ・1市2町では、情報通信基盤を活かした地域情報化に取り組んでおり、行政窓口オンラインシステム、緊急通報システム及びホームページはすべての市町で導入されています。

表 地域情報通信システムの整備状況（平成16年）

	武 雄 市	山 内 町	北 方 町
行政窓口オンラインシステム	○	○	○
生涯学習支援情報システム	○ 一部		
保健医療情報システム	○		
緊急通報システム	○	○	○
気象・水防情報システム	○ 一部		
防災行政無線システム		○	○
防災情報システム	○		
タウン・イベント情報システム	○ 一部		
ホームページ開設	○	○	○

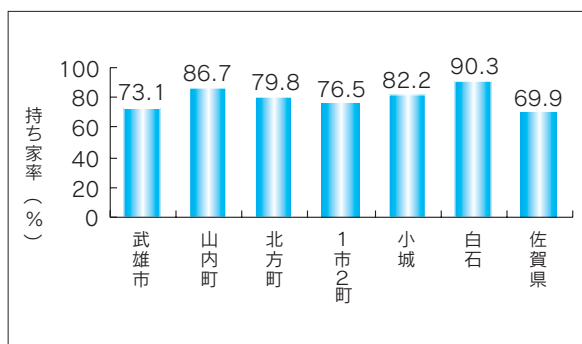
資料：市町資料

5. 生活環境

(1) 居住環境等

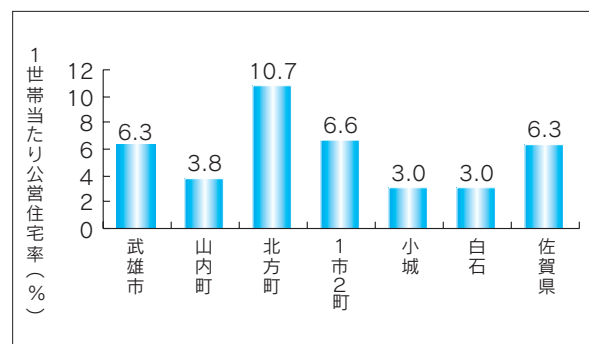
- ・ 1市2町の持ち家率は76.5%で、県平均の69.9%を上回っています。
- ・ 1市2町の1世帯当たりの公営住宅の比率は6.6%で、ほぼ県平均となっています。特に北方町では10.7%と高く、持ち家比率が高い山内町では、3.8%と低くなっています。
- ・ 1世帯当たり延べ床面積は、持ち家では武雄市、山内町は同水準ですが、北方町が127.2m²と狭くなっています。また、借家では持ち家に比べ、延べ床面積が狭くなっています。
- ・ 1市2町のうち、都市計画区域が設定されているのは武雄市のみで、都市公園は武雄市のみを整備されています。1市2町全体の人口1人当たりの公園面積は4.9m²となっています。

図 持ち家率（平成12年）



資料：国勢調査

図 1世帯当たり公営住宅率（平成12年）



* (公営住宅戸数/世帯数)

資料：国勢調査

表 1世帯当たり延べ床面積（平成12年）

(単位 m²)

		持ち家	借家（公営）	借家（民間）
武雄市		145.2	53.1	55.4
山内町		148.3	46.4	62.7
北方町		127.2	48.1	71.9
小 城	小城町	130.8	68.4	62.6
	三日月町	135.8	—	55.4
	牛津町	132.5	50.1	56.4
	芦刈町	139.3	—	69.5
白 石	旧白石町	154	41.4	61.2
	旧福富町	148.6	53.9	81.1
	旧有明町	151.9	65.9	89.1

資料：国勢調査

表 1人当たりの都市公園面積（平成14年）

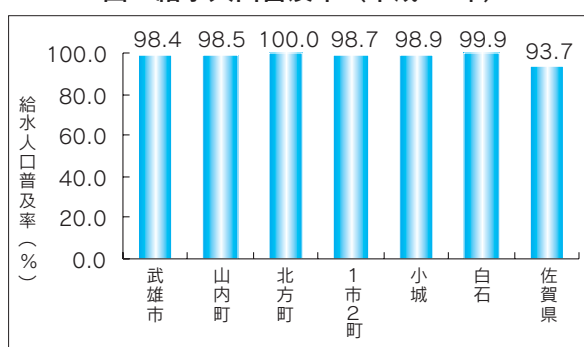
		都市公園面積 (m ²)	人口 (H15年3月末)	1人あたりの都市 公園面積 (m ² /人)
武雄市		262,366	34,799	7.5
山内町		—	9,802	—
北方町		—	8,820	—
1市2町		262,366	53,421	4.9
小 城	小城町	81,000	17,916	4.5
	三日月町	—	11,808	—
	牛津町	74,513	10,684	7.0
	芦刈町	—	6,427	—
小 城 計		155,513	46,835	3.3
白 石	旧白石町	174,139	13,687	12.7
	旧福富町	—	5,686	—
	旧有明町	—	9,005	—
白 石 計		174,139	28,378	6.1

資料：「市町村財政概要」

(2) 上水道・生活排水処理、ごみ処理

- ・上水道の給水人口普及率は1市2町とも県平均を上回っており、高い水準にあるといえます。水道料金については格差があります。
- ・生活排水処理施設整備普及率は、1市2町全体で29.9%と県平均を下回り、特に武雄市と北方町の整備は遅れており、普及率の向上が課題です。公共下水道など地域特性に合った施設の計画的な整備が必要です。
- ・人口千人あたりのごみの排出量は北方町は県平均を上回っていますが、1市2町全体では、県平均を下回っています。

図 給水人口普及率（平成14年）



* 給水人口普及率は、
給水人口計/住基台帳人口（平成14年度末）×100

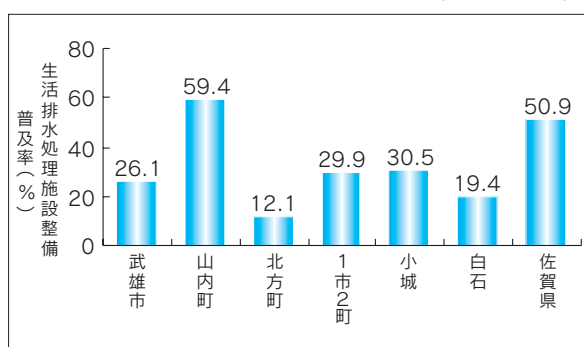
資料：「市町村財政概要」

表 水道料金（平成16年）

		水道料金 (10立方メートルあたり)
武雄市		2,698円
山内町		2,490円
北方町		1,785円
小城	小城町	1,390円
	三日月町	1,570円
	牛津町	2,200円
	芦刈町	2,200円
新白石町		2,200円

資料：市町資料

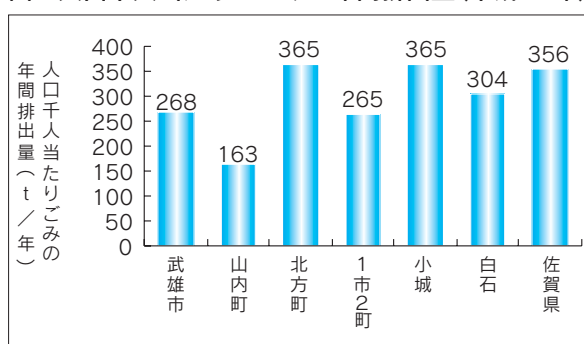
図 生活排水処理施設整備普及率（平成14年）



* 生活排水処理施設整備普及率は
排水処理人口計/住基台帳人口（平成14年度末）×100

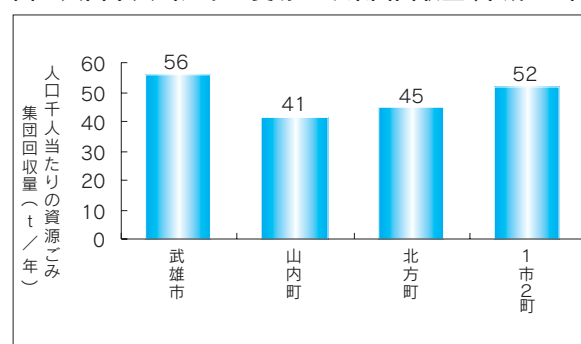
資料：「市町村財政概要」

図 人口千人あたりのごみの年間排出量（平成14年）



資料：「市町村財政概要」

図 人口千人当たりの資源ごみ集団回収量（平成15年）

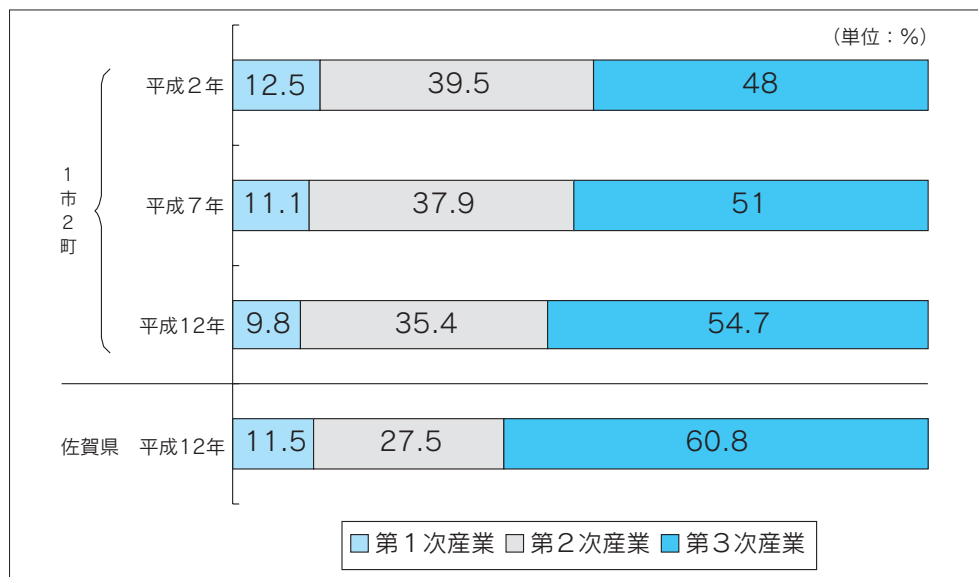


資料：市町資料

6. 産業構造

- ・ 1市2町の就業人口は年々減少しており、まちの活力づくりの担い手不足が懸念されます。
- ・ 産業別人口構成の推移を見ると、第3次産業の比率が増加傾向にあり、基幹産業である第1次産業の比率が減少しています。

図 1市2町の産業別就業人口構成の推移



資料：国勢調査

表 産業別就業人口の推移

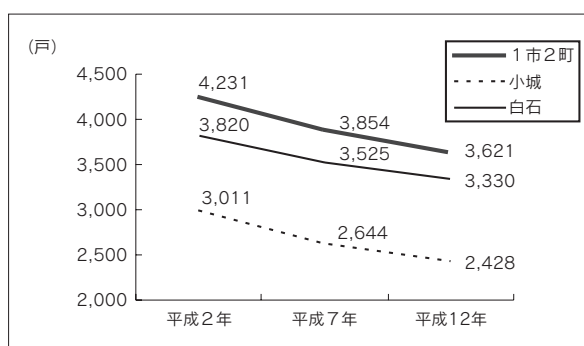
		就業人口・計		第1次産業		第2次産業		第3次産業		分類不能	
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
武雄市	平成2年	17,516	100	2,207	12.6	5,839	33.3	9,465	54.0	5	0.0
	平成7年	17,990	100	1,778	9.9	5,917	32.9	10,287	57.2	8	0.0
	平成12年	17,177	100	1,607	9.4	5,227	30.4	10,325	60.1	18	0.1
山内町	平成2年	5,222	100	659	12.6	2,437	46.7	2,124	40.7	2	0.0
	平成7年	5,214	100	673	12.9	2,261	43.4	2,280	43.7	0	0.0
	平成12年	4,890	100	545	11.1	1,962	40.1	2,381	48.7	2	0.0
北方町	平成2年	4,320	100	529	12.2	1,657	38.4	2,127	49.2	7	0.2
	平成7年	4,346	100	454	10.4	1,629	37.5	2,263	52.1	0	0.0
	平成12年	4,211	100	369	8.8	1,510	35.8	2,332	55.4	0	0.0
1市2町	平成2年	27,058	100	3,395	12.5	9,933	39.5	13,716	48	14	0.0
	平成7年	27,550	100	2,905	11.1	9,807	37.9	14,830	51	8	0.0
	平成12年	26,278	100	2,521	9.8	8,699	35.4	15,038	54.7	20	0.0
佐賀県	平成2年	426,775	100	66,142	15.5	124,120	29.1	236,360	55.4	153	0.0
	平成7年	443,037	100	56,788	12.8	129,952	29.3	255,991	57.8	306	0.1
	平成12年	431,457	100	49,601	11.5	118,528	27.5	262,407	60.8	921	0.2

資料：国勢調査

7. 農業

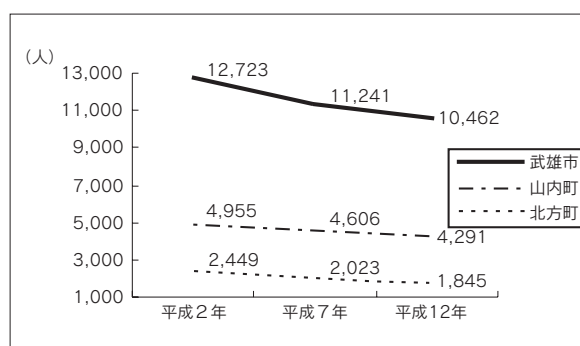
- ・ 1市2町の農家数及び農家人口は減少傾向にあり、今後とも減少していくと推測されます。
- ・ 農家1戸当たりの耕地面積は、1市2町全体では、県平均を下回っていますが、北方町では上回っています。
- ・ 専業、兼業農家の構成比率をみると、1市2町では、わずかではありますが、専業農家の比率が増加しています。
- ・ 1市2町の農業粗生産額は減少傾向にあります。また、農家1戸当たりの農業粗生産額では、1市2町ともに県平均を下回っています。
- ・ 主要農産物は、1市2町ともに米が第1位となっており、以下肉用牛、豚、鶏卵、みかんの順となっています。

図 1市2町の農家数の推移



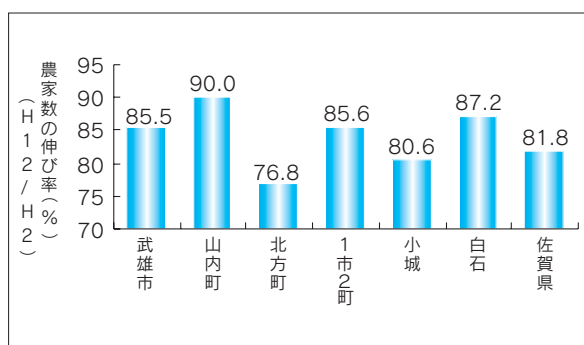
資料：農業センサス

図 1市2町の農家人口の推移



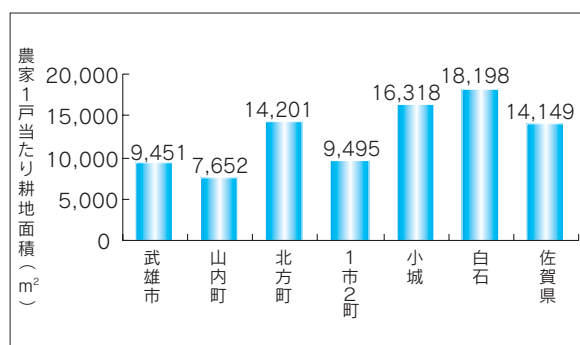
資料：農業センサス

図 農家数の伸び率



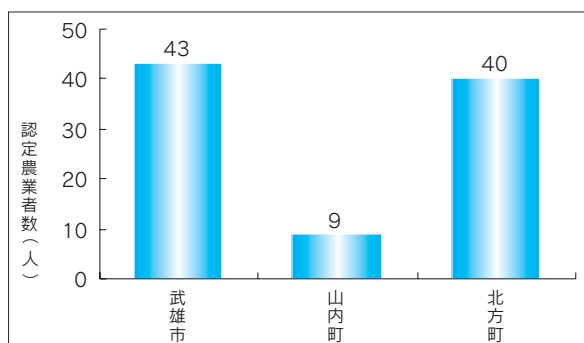
資料：農業センサス

図 農家1戸当たりの耕地面積（平成12年）



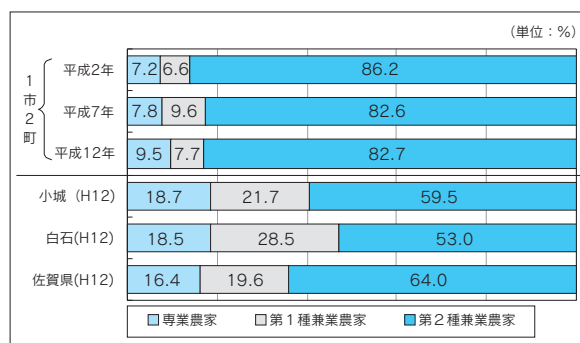
資料：農業センサス

図 認定農家数（平成15年度末）



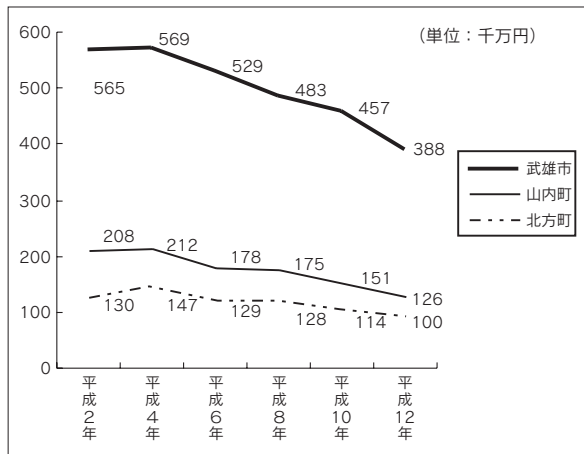
資料：市町資料

図 1市2町の専業、兼業農家別比率（平成12年）



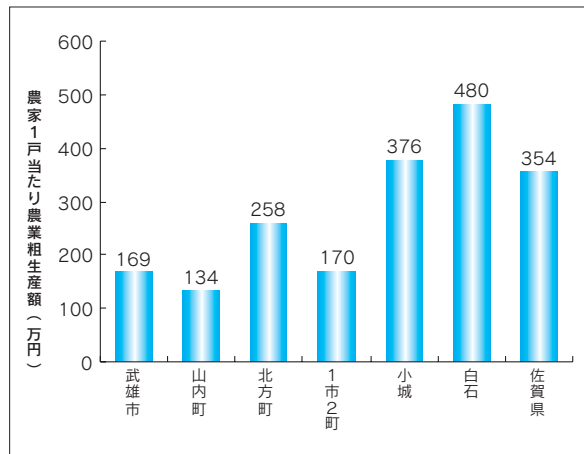
資料：農業センサス

図 1市2町の農業粗生産額の推移



資料：農業センサス

図 農家1戸当たりの農業粗生産額（平成12年）



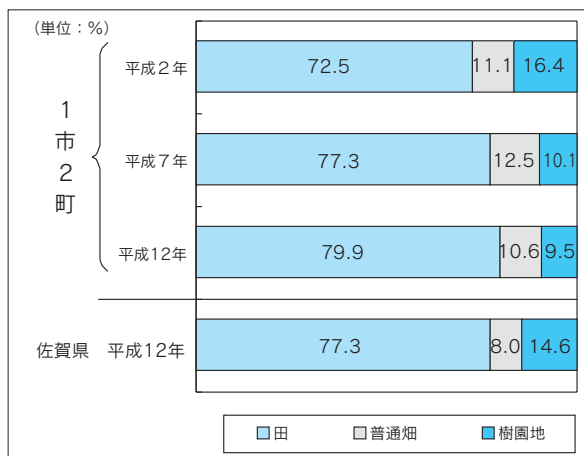
資料：農業センサス

表 主要農産物（平成14年・生産ランキング）（単位：千万円）

	1位		2位		3位		4位		5位	
	品目	生産額	品目	生産額	品目	生産額	品目	生産額	品目	生産額
武雄市	米	133	肉用牛	46	豚	40	ひな	36	ブローラー	23
山内町	米	37	肉用牛	20	鶏卵	16	種卵	12	ブローラー	7
北方町	米	34	鶏卵	15	みかん	8	いちご	8	小麦	7
佐賀県	米	3,484	肉用牛	1,149	いちご	1,134	みかん	1,047	たまねぎ	643

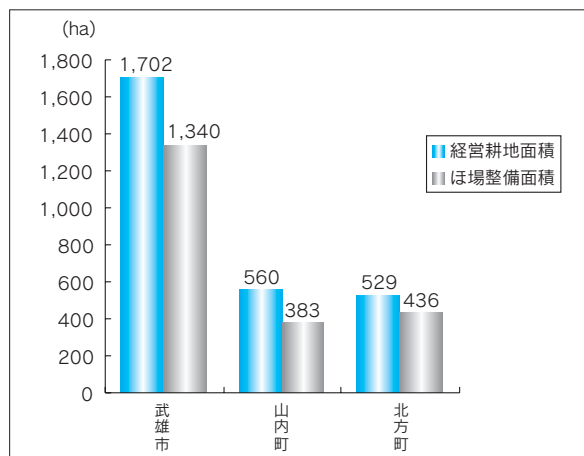
資料：生産農業所得統計

図 1市2町の耕種別構成比（平成12年）



資料：耕種面積調査

図 ほ場整備面積（平成15年）



資料：耕種面積調査

8. 工業

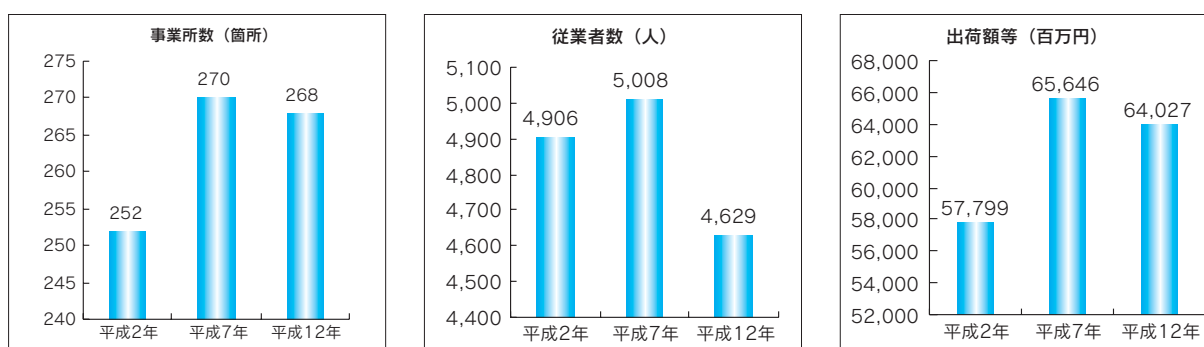
- ・ 1市2町の製造業について、事業所数、従業者数、出荷額は、平成7年までは増加していましたが、平成12年には減少しています。
- ・ 製造品出荷額等の最も多い業種は、武雄市、北方町では電気機器、山内町では鉄鋼となっています。
- ・ 人口1人当たりの出荷額については、1市2町間での差は見られませんが、県平均と比較すると低くなっています。
- ・ 工業出荷額等の伸び率（H12/H7）は、武雄市では147.9%と増加していますが、山内町、北方町では減少しています。特に山内町では64.3%と減少傾向が顕著です。

表 製造業事業者数、従業者数、製造品出荷額等

	製造業事業所数（力所）			製造業従業者数（人）			製造品出荷額等（百万円）			人口1人 当たり出 荷額等 （H12： 万円）
	2年	7年	12年	2年	7年	12年	2年	7年	12年	
武雄市	129	145	142	2,453	2,824	2,626	28,041	38,071	41,475	119.9
山内町	94	98	97	1,234	1,091	874	18,584	14,708	11,943	121.7
北方町	29	27	29	1,219	1,093	1,129	11,174	12,867	10,609	122.7
1市2町	252	270	268	4,906	5,008	4,629	57,799	65,646	64,027	120.7
小城	145	145	131	2,274	2,171	1,851	29,337	31,862	30,536	67.3
白石	58	55	48	803	823	718	6,050	4,195	5,546	19.5
佐賀県	3,532	3,532	3,301	73,369	72,816	66,020	1,416,423	1,565,667	1,623,798	185.2

資料：工業統計表

図 1市2町の製造業事業所数・従業者数・出荷額等の推移



資料：工業統計表

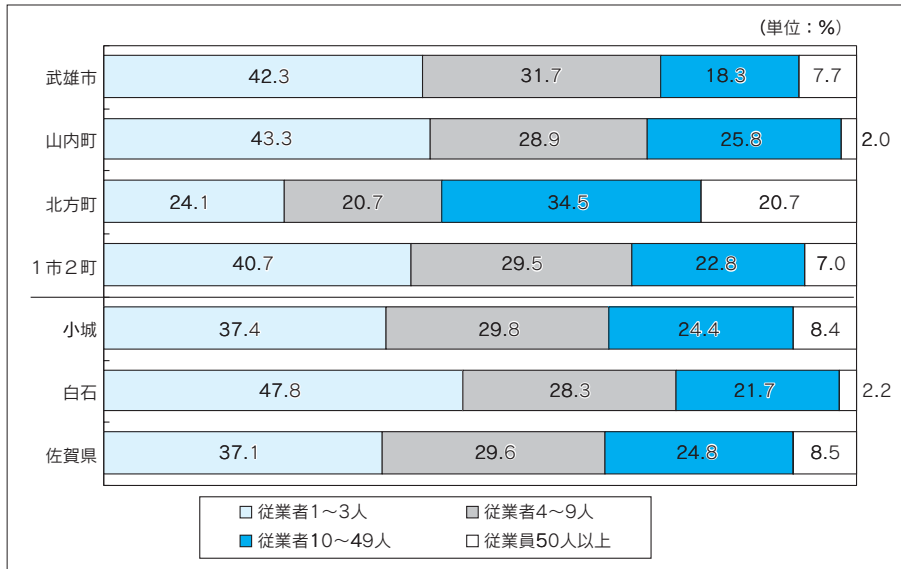
表 製造品出荷額等の内訳（平成12年・ランキング）

（単位：百万円）

	1位	2位	3位	4位	5位
武雄市	電気機器 (13600)	一般機器 (5540)	その他製造 (5410)	窯業・土石 (4160)	金属製品 (3420)
山内町	鉄 鋼 (6970)	窯業・土石 (2960)	一般機器 (670)	木材・木製品 (430)	金属製品 (330)
北方町	電気機器 (4330)	食料品 (2660)	衣 服 (1170)	窯業・土石 (540)	金属製品 (50)

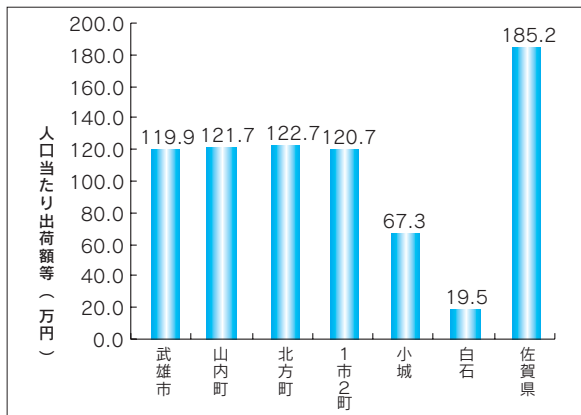
資料：工業統計表

図 規模別事業所割合（平成12年）



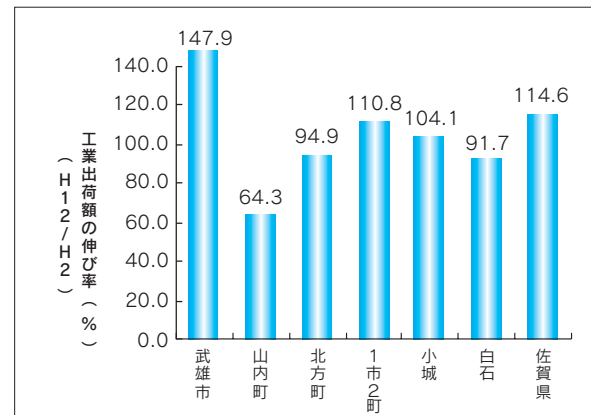
資料：工業統計表

図 人口1人当たり工業出荷額等（平成12年）



資料：工業統計表

図 工業出荷額等の伸び率



資料：工業統計表

9. 商業

- ・人口1人当たりの小売商業販売額は、武雄市が県平均を大きく上回っています。また、北方町はほぼ県平均並み、1市2町全体では、県平均を上回っています。
- ・1市2町における小売商業の近年の推移を見ると、商店数は減少していますが、従業員数、販売額は増加しています。これは、武雄市への大型商業施設の進出によるものと考えられます。

表 小売販商店数・従業者数・年間販売額の推移

	小売商店数（力所）			小売商業・従業者数（人）			小売商業販売額（百万円）			人口1人当たり 販売額 (H14、万円)
	6年	9年	14年	6年	9年	14年	6年	9年	14年	
武雄市	554	542	515	2,428	2,467	2,663	40,356	42,426	49,311	141.7
山内町	92	99	92	353	411	364	3,452	4,047	3,563	36.3
北方町	133	133	102	598	611	492	9,910	11,182	8,169	92.6
1市2町	779	774	709	3,379	3,489	3,519	53,718	57,655	61,043	114.3
小城	516	514	453	2,098	2,221	2,284	31,516	35,708	32,161	68.7
白石	413	375	328	1,562	1,446	1,434	20,566	20,293	17,504	16
佐賀県	12,599	12,113	10,996	54,850	54,559	56,891	889,572	924,024	846,774	96.4

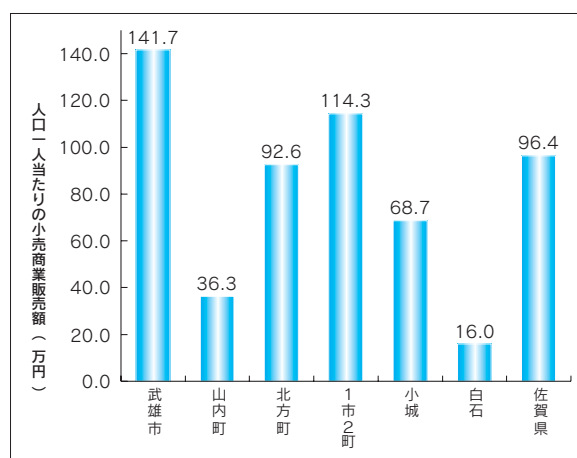
資料：商業統計表

表 小売業売場面積

小売業売場面積（㎡）			
	6年	9年	14年
武雄市	40,404	44,023	57,191
山内町	3,765	4,653	4,157
北方町	9,367	8,541	11,088
1市2町	53,536	57,217	72,436
小城	33,998	43,113	51,716
白石	26,447	28,114	26,051
佐賀県	878,881	1,007,060	1,181,109

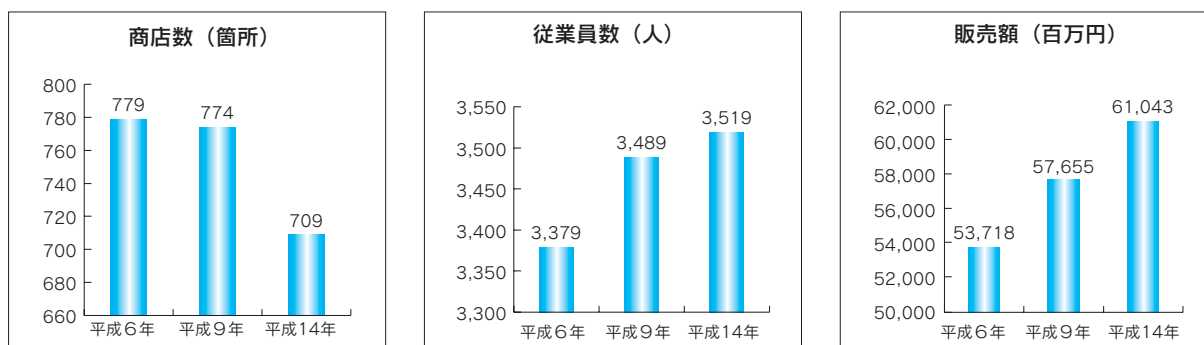
資料：商業統計表

図 人口1人当たりの小売商業販売額（平成14年）



資料：商業統計表

図 1市2町の小売商店数・従業者数・年間販売額の推移

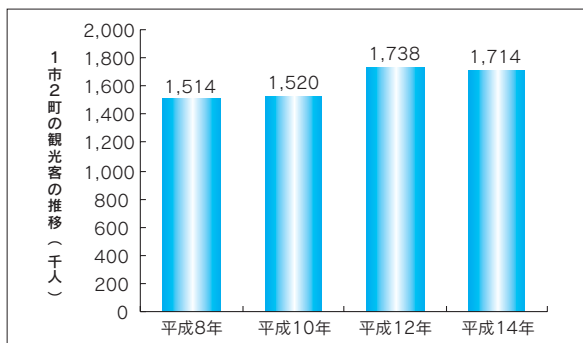


資料：商業統計表

10. 観光

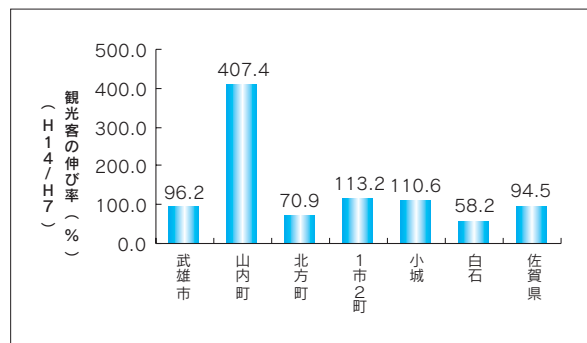
- ・ 1市2町では、武雄温泉、黒髪山、きたがた四季の丘公園などの豊かな観光資源を有しており、人口1人当たりの観光客数では、小城地区、白石町に比べ多くなっていますが、県平均と比較すると少なくなっています。
- ・ 観光客の約7割以上が日帰り客で、宿泊客の割合は県平均よりも上回っていますが、その多くは武雄市に集中しています。
- ・ 観光客の交通手段の約7割が自家用車です。発地別では、約6割が県内、それ以外でもほぼ九州圏内からの観光客が大部分を占めています。今後、九州新幹線長崎ルートの開通により、県外からの鉄道を利用した観光客が増加することが予想されます。

図 1市2町の観光客の推移



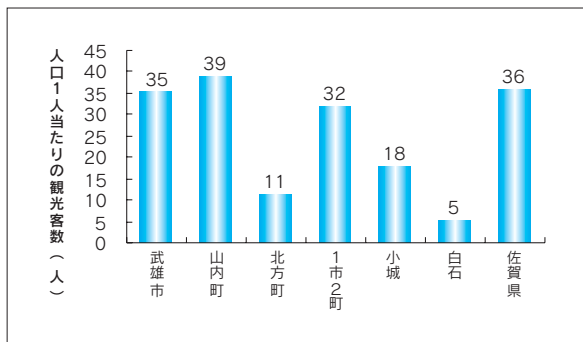
資料：佐賀県統計書

図 観光客数の伸び率



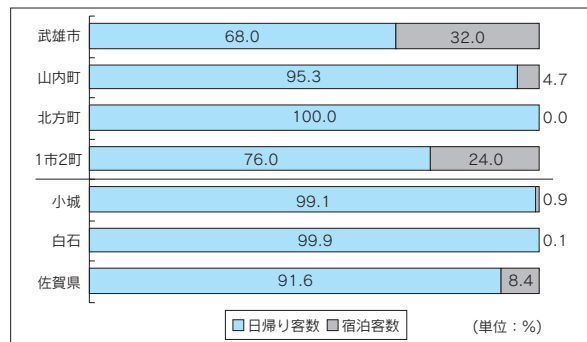
資料：佐賀県統計書

図 人口1人当たりの観光客数(平成14年)



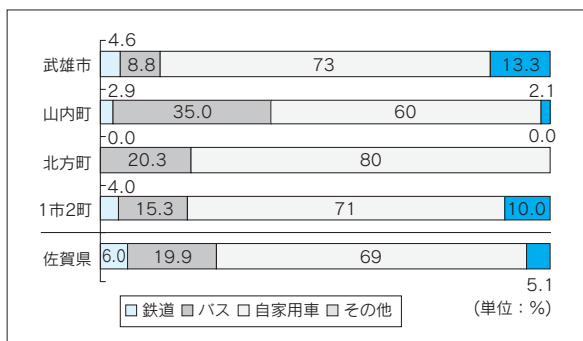
資料：佐賀県統計書

図 観光客日帰、宿泊別比率(平成14年)



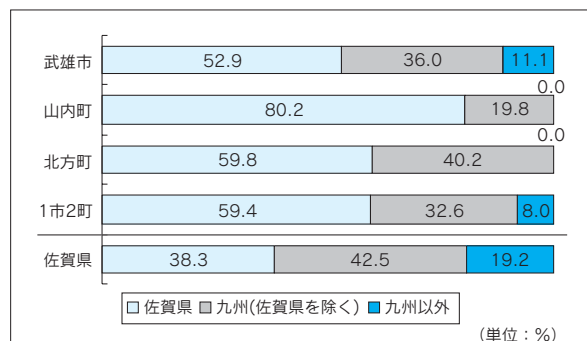
資料：佐賀県統計書

図 観光客の交通手段(平成14年)



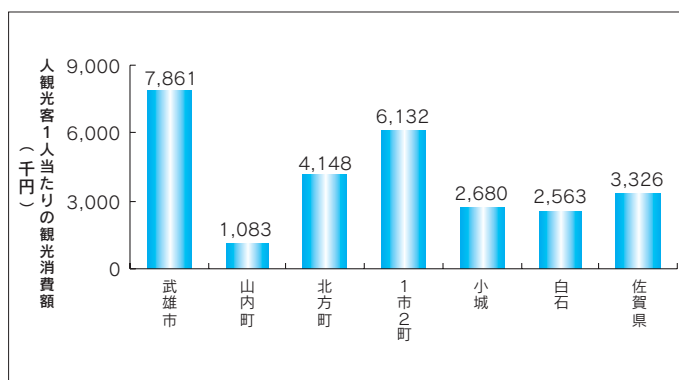
資料：佐賀県統計書

図 観光客の発地別比率(平成14年)



資料：佐賀県統計書

図 観光客1人当たりの観光消費額（平成14年）



資料：佐賀県統計書

表 観光資源

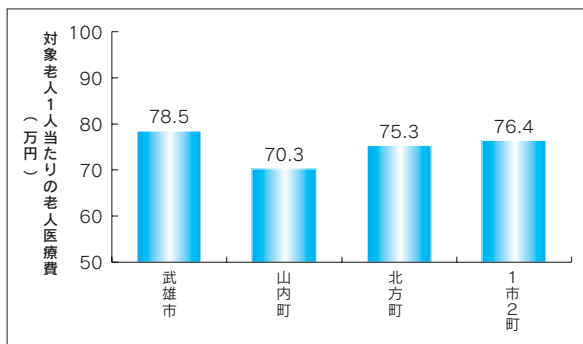
武雄市	山内町	北方町
川古の大楠公園	黒髪少年自然の家	きたがた四季の丘公園
竹古場キルンの森公園（飛龍窯）	乳待坊公園	北方宿本陣
武雄温泉	夫婦岩（雄岩・雌岩）	勇猛寺
武雄温泉楼門	道の駅（山内）・黒髪の里	大聖寺
慧州園	神六山公園キャンプ場	高野寺
御船山楽園、御船が丘梅林	筒江窯跡	
武雄温泉保養村	中央公園	
佐賀県立宇宙科学館		
武雄・嬉野メルヘン村		

資料：各市町資料

11. 医療・保健

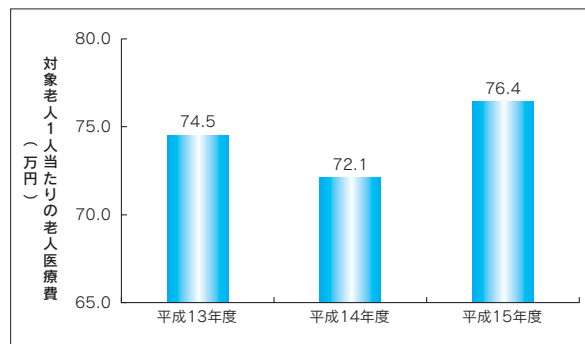
- ・対象老人1人当たりの老人医療費は、1市2町間で格差があります。また、対象老人1人当たりの老人医療費については増加傾向がうかがえます。
- ・人口千人当たりの病院・診療所数、病床数、医師数については1市2町間で格差がみられますが、病床数、医師数では県平均を下回っています。
- ・健診受診率では、北方町、山内町に比べ、武雄市の受診率が低くなっています。

図 対象老人1人当たりの老人医療費(平成15年度)



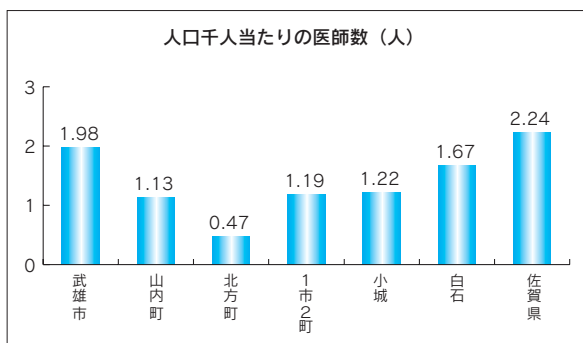
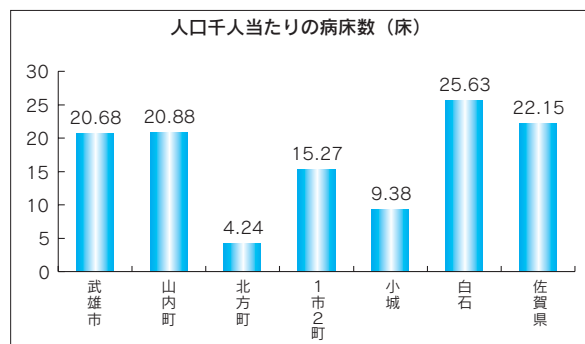
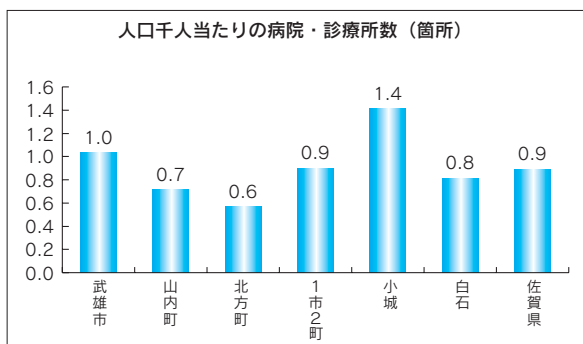
資料：市町資料

図 1市2町対象老人1人当たりの老人医療費(平成15年度)



資料：市町資料

図 人口千人当たりの病院・診療所数、病床数、医師数(平成14年)



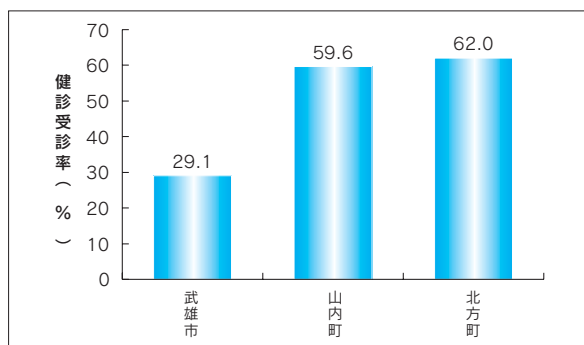
資料：「医療施設調査」「医師・歯科医師・薬剤師調査」

表 健康まちづくり行政メニュー一覧（平成15年）

	武雄市	山内町	北方町
一般健康教育教室	○	○	
糖尿病予防教室	○	○	○
骨粗鬆症予防教室	○		○
寝たきり予防教室	○		
老人クラブすこやか学級	○		
にこにこマイペース教室	○		
両親学級	○	○	○
リハビリ教室		○	○
一般健康相談	○	○	○
糖尿病相談	○	○ (栄養相談)	○
老人健康相談	○	○	○
肝疾患対策事業（健診・指導）	○	○	○
4ヶ月健診	○	○ (3ヶ月検診)	
6ヶ月健診	○ (10ヶ月検診)	○ (7ヶ月検診)	○
1歳6ヶ月健診	○	○	○
2歳児健康相談	○	○	○
予防接種（7種）		○	○
予防接種（9種）	○		
結核検診	○	○	○
骨粗鬆症検診	○	○	○

資料：各市町資料

図 健診受診率（基本健診、平成15年）



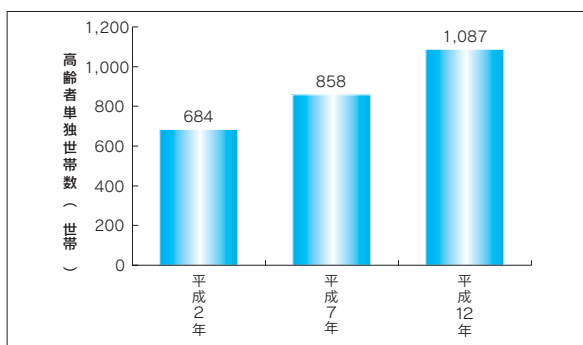
資料：各市町資料

12. 福祉

(1) 高齢者福祉

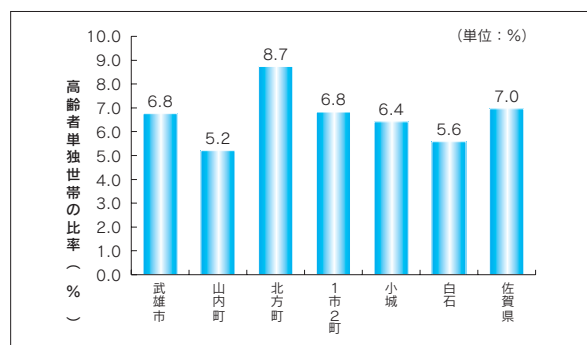
- ・ 1市2町の高齢化率は年々上昇しており、平成12年で65歳以上の人口比率は21.71%で、県平均を上回っています。また、高齢者単独世帯の比率では、1市2町では県平均を下回っています。
- ・ 1市2町の要介護・要支援数は、杵藤広域圏の中で、3割を占めています。
- ・ 1市2町では、公的、民間合わせて特別養護老人ホームが4ヶ所、デイサービスセンターが13ヶ所、在宅介護支援センターが10ヶ所などの高齢者福祉施設が設置されています。高齢化は今後も進むと予想されるため、サービス提供体制の構築を計画的に行う必要があります。

図 1市2町における高齢者単独世帯数



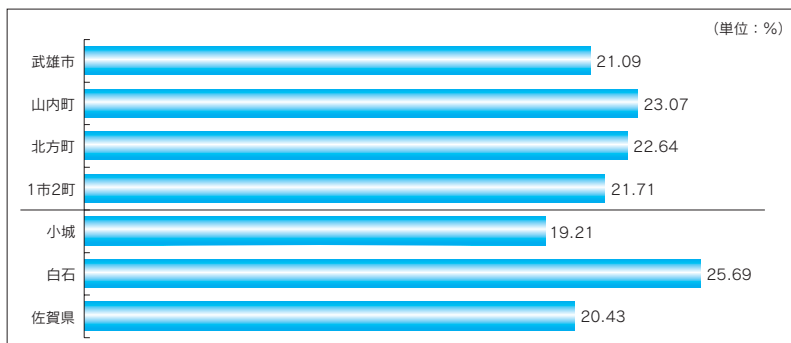
資料：国勢調査

図 高齢者単独世帯の比率（平成12年）



資料：国勢調査

図 65歳以上人口比率（平成12年）



資料：国勢調査

表 要介護・要支援者数（人）（平成16年3月末現在）

	武雄市	山内町	北方町	1市2町計	杵藤地区計	杵藤地区比率(%)
要 支 援	227	66	89	382	1,395	27.38
要介護 1	424	155	130	709	2,223	31.89
要介護 2	191	79	59	329	1,095	30.05
要介護 3	179	58	49	286	922	31.02
要介護 4	148	59	40	247	837	29.51
要介護 5	116	36	41	193	691	27.93
計	1,285	453	408	2,146	7,163	29.96
高齢者人口 (人)	7,835	2,309	2,122	12,266	42,543	28.83

資料：各市町資料

表 老人福祉施設（平成15年）

公 的 施 設						
	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム	養 護 老 人 ホ ー ム	生 き が い 対 応 型 デ ィ サ ー ビ ス セ ン タ ー	在 宅 介 護 支 援 セ ン タ ー	老人福祉センター	
	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	定員数
武雄市	0	0	1	1	1	250
山内町	0	0	1	1	0	0
北方町	0	0	1	1	1	200
1市2町	0	0	3	3	2	450

民 間 施 設							
	特別養護老人ホーム		老人保健施設		養護老人ホーム		グループ ホーム
	施設数	定員数	施設数	定員数	施設数	定員数	施設数
武雄市	2	100	2	160	1	56	4
山内町	1	50	0	0	0	0	2
北方町	1	50	0	0	0	0	0
1市2町	4	200	2	160	1	56	6

民 間 施 設			
	ディサ ー ビ ス セ ン タ ー	在 宅 介 護 支 援 セ ン タ ー	ショ ー ト ス テ イ
	施設数	施設数	施設数
武雄市	5	4	2
山内町	3	1	1
北方町	2	2	1
1市2町	10	7	4

資料：各市町資料

(2) 児童福祉

- ・ 1市2町では、出生率が死亡率を下回っています。
- ・ 保育サービスについて、保育所施設充足率は98.7%と県平均の91.2%を上回っています。今後も、多様化する保育ニーズに対応するため、特別保育などの充実を図る必要があります。

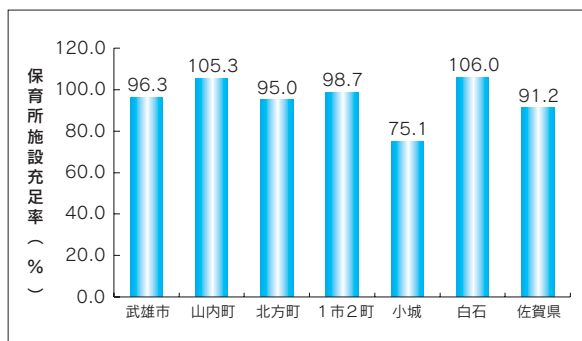
表 保育所の整備状況と充足率（平成14年）

	公 立		公立外		施設充足率 (%)
	箇所数	定員(人)	箇所数	定員(人)	
武雄市	6	450	5	420	96.3
山内町	1	30	3	290	105.3
北方町	0	0	2	210	95.0
1市2町	7	480	10	920	98.7
小 城	5	540	2	220	75.1
白 石	7	715	1	445	106.0
佐賀県	75	6,925	137	18,145	91.2

※施設充足率＝定員÷対象
児童×100

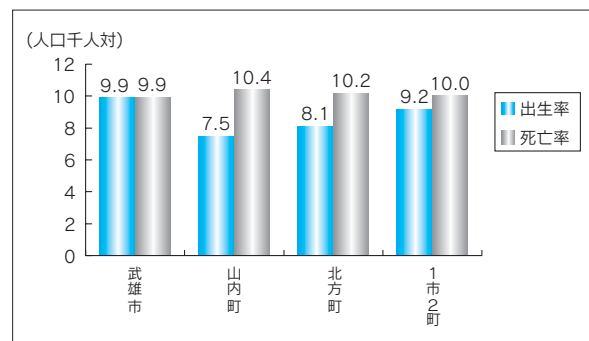
資料：「市町村財政概要」

図 保育所施設充足率（平成14年）



資料：「市町村財政概要」

図 出生率・死亡率（平成15年）



資料：人口統計資料

表 特別保育取り組み状況（平成15年度）

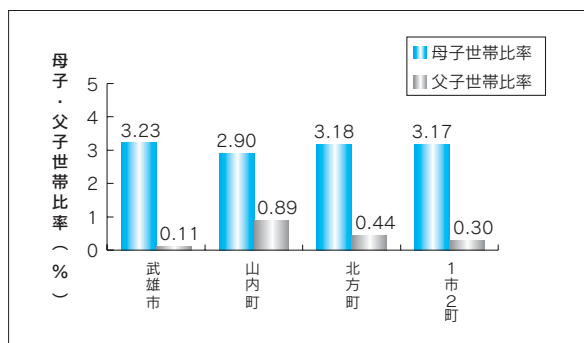
	武雄市	山内町	北方町
乳幼児保育促進事業	○		
延長保育促進事業	○	○	○
障害児保育事業	○	○	○
障害児保育推進事業	○	○	○
子育て支援センター事業	○		
保育所地域活動事業	○	○	
一時保育促進事業	○		

資料：各市町資料

(3) その他福祉

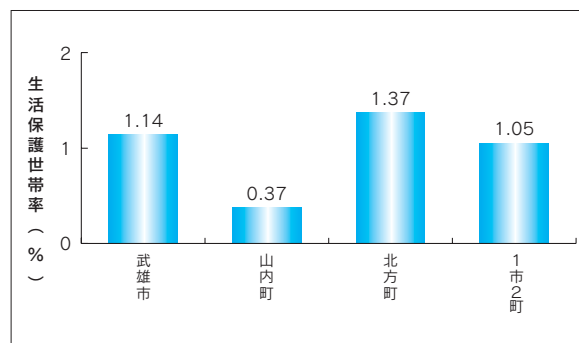
- ・ 1市2町の母子世帯比率は3.17%、父子世帯比率は0.30%となっています。
- ・ 心身障害（身体・知的・精神）者（児）数は、1市2町全体で2,894人（平成15年）となっています。

図 母子世帯・父子世帯比率（平成15年）



資料：各市町資料

図 生活保護世帯比率（平成15年）



資料：各市町資料

表 障害者(児)数(人)
(身体・知的・精神)

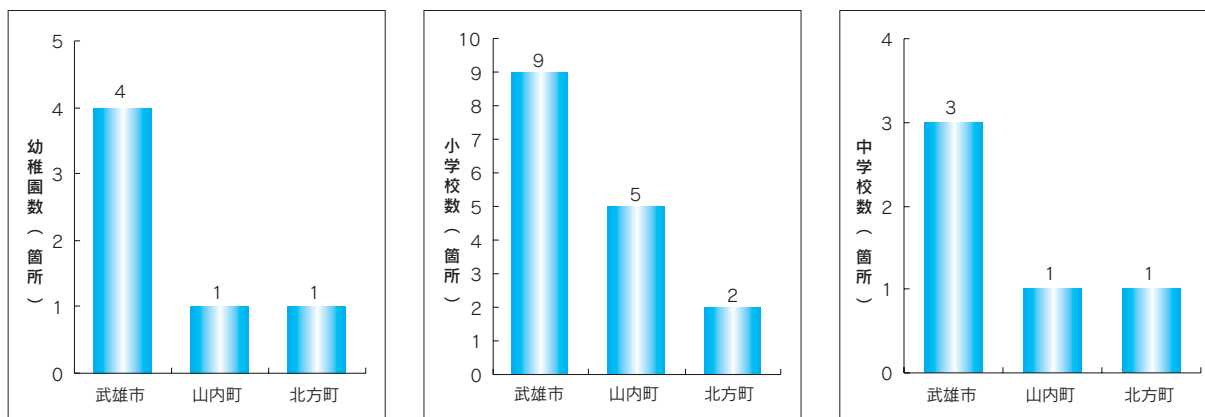
	平成15年
武雄市	1,777
山内町	582
北方町	535
1市2町	2,894

資料：各市町資料

13. 学校教育

- ・ 1市2町には、幼稚園が6園、小学校が16校、中学校が5校あります。小学校1学級当たりの児童数は25.5人でほぼ県平均並みです。また、中学校1学級当たりの生徒数（30.4人）もほぼ県平均並みとなっています。
- ・ 幼稚園施設充足率は125.6%で県平均を若干下回っています。
- ・ 1市2町の小学校児童1人当たり及び中学校生徒1人当たりの校舎面積は、県平均よりも若干狭くなっています。小学校では北方町の児童1人当たりの校舎面積が狭く、県平均を上回っているのは山内町のみとなっています。中学校では、北方町のみ県平均を上回っています。
- ・ 危険・不足校舎面積は、小学校、中学校ともに武雄市が大きく、小学校では、老朽化などにより改修等が必要な校舎・施設があり、特に高い数値となっています。
- ・ 小、中学校での児童、生徒百人当たりのパソコンの設置台数は、中学校では若干の差がみられますが、小学校ではほとんど差は見られません。

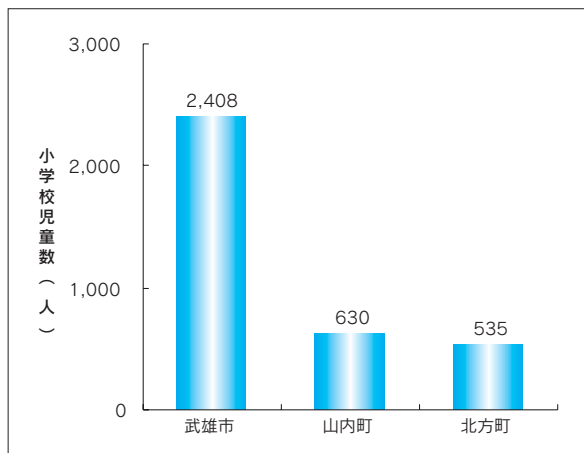
図 幼稚園、小学校、中学校数（平成14年）



資料：「市町村財政概要」

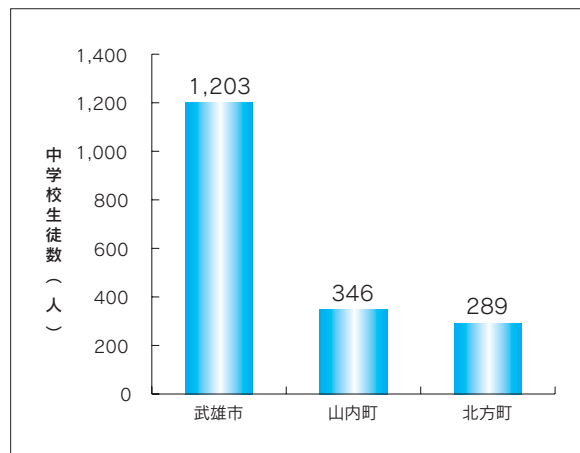
図 児童・生徒数（平成14年）

（小学校）



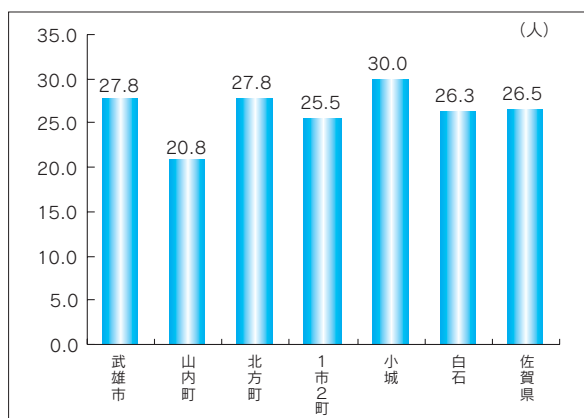
資料：「市町村財政概要」

（中学校）



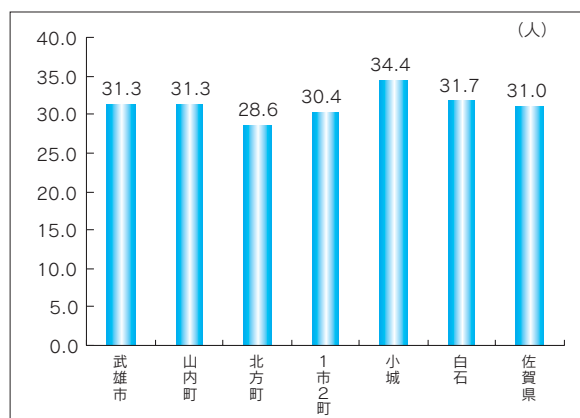
資料：「市町村財政概要」

図 1学級当たり（小学校）児童数（平成14年）



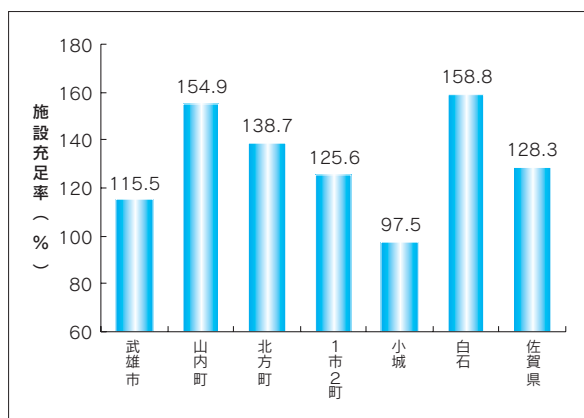
資料：「市町村財政概要」

図 1学級当たり（中学校）生徒数（平成14年）



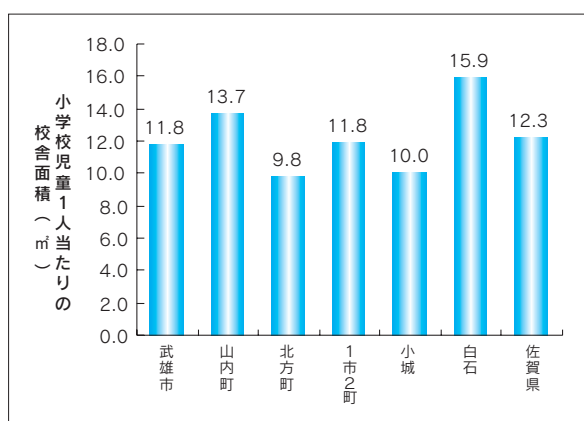
資料：「市町村財政概要」

図 幼稚園施設充足率（平成14年度）



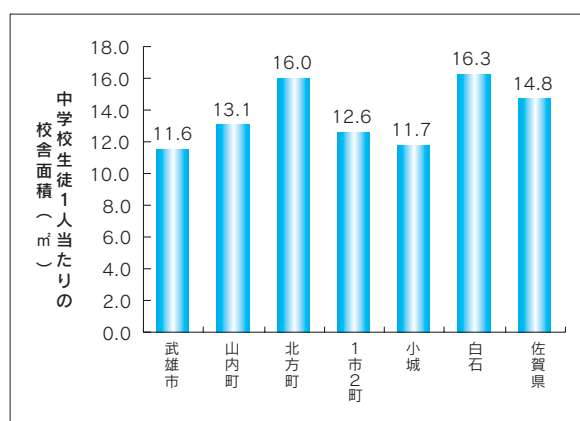
資料：「市町村財政概要」

図 小学校児童1人当たり校舎面積



資料：「市町村財政概要」

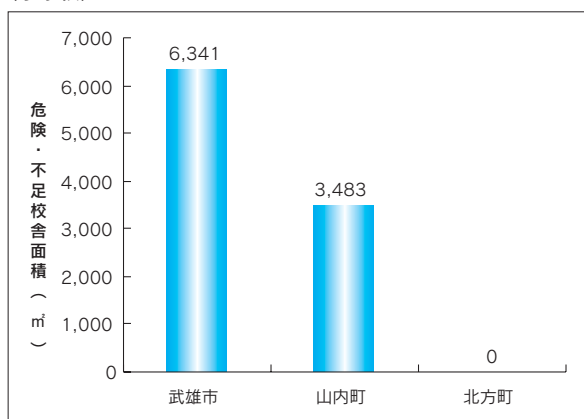
図 中学校生徒1人当たり校舎面積



資料：「市町村財政概要」

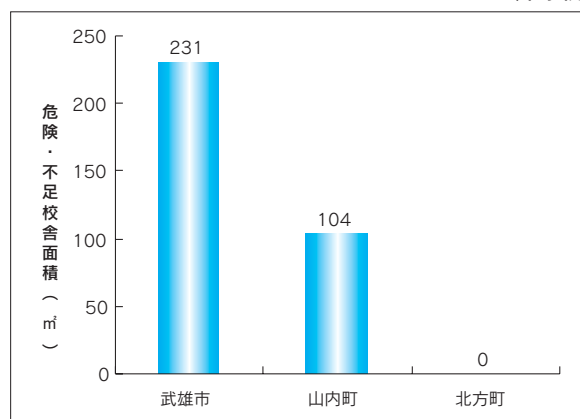
図 危険・不足校舎面積（平成14年）

(小学校)



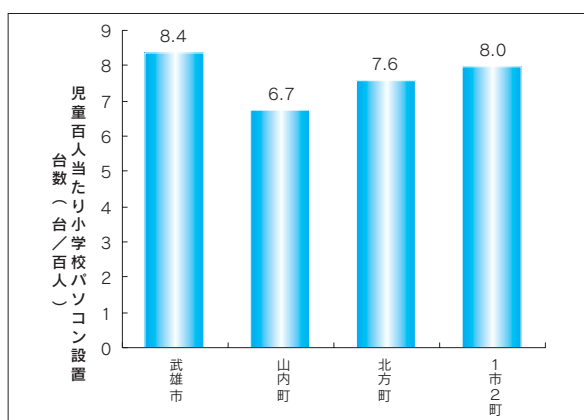
資料：「市町村財政概要」

(中学校)



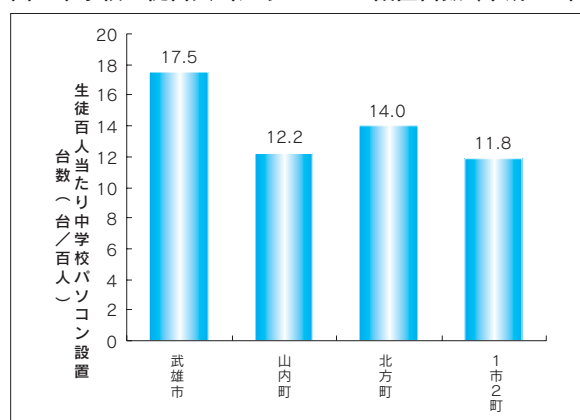
資料：「市町村財政概要」

図 小学校児童百人当たりパソコン設置台数（平成16年）



資料：市町資料

図 中学校生徒百人当たりパソコン設置台数（平成16年）



資料：市町資料

14. 生涯学習・文化

(1) 文化スポーツ施設

- ・1市2町とも公民館が整備されていますが、図書館は武雄市のみとなっています。また、児童館はありません。
- ・1市2町の住民1人当たりの図書館蔵書数は2.2冊で小城地区の蔵書数（2.8冊）に比べ低くなっていますが、県平均並みとなっています。
- ・スポーツ施設については、人口1人当たりの施設数は1市2町間で差がありますが、全体で見ると、各施設とも県平均よりも整備されています。

表 生涯学習施設（平成14年）

	児童館		文化会館等		公民館		図書館		勤労者青少年ホーム	
	箇所数	延床面積(m ²)	箇所数	延床面積(m ²)	箇所数	延床面積(m ²)	箇所数	延床面積(m ²)	箇所数	延床面積(m ²)
武雄市	—	—	1	8,530	8	6,120	1	2,270	1	1,177
山内町	—	—	—	—	1	632	—	—	—	—
北方町	—	—	—	—	1	2,797	—	—	—	—
1市2町	—	—	1	8,530	10	9,549	1	2,270	1	1,177
小城	—	—	1	444	8	9,312	2	2,473	—	—
白石	—	—	2	4,319	3	2,856	—	—	—	—
佐賀県	29	9,444	26	88,200	125	109,386	16	29,514	6	6,970

資料：「市町村財政概要」

表 住民1人当たりの図書館蔵書数

	蔵書数（冊）	平成15年3月末人口（人）	住民1人当たりの蔵書数（冊）
武雄市	116,893	34,799	
山内町	—	9,802	
北方町	—	8,820	
1市2町	116,893	53,421	2.2
小城	326,495	116,184	2.8
白石	—	55,749	0.0
佐賀県	1,913,732	880,665	2.2

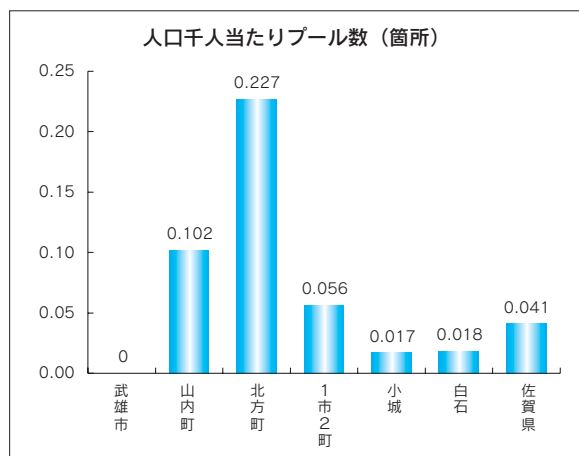
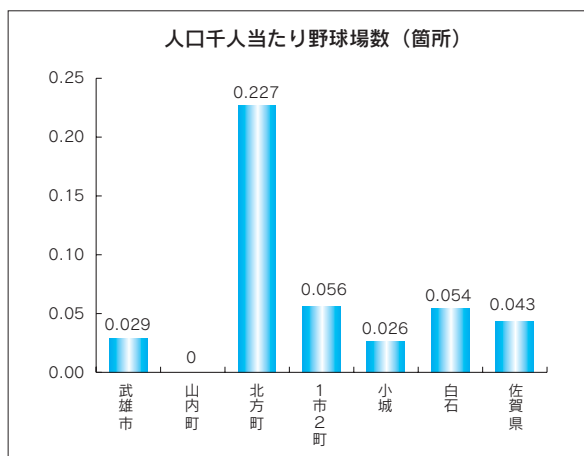
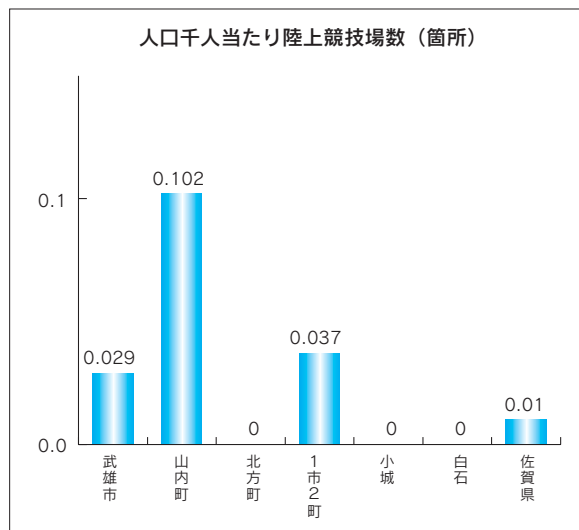
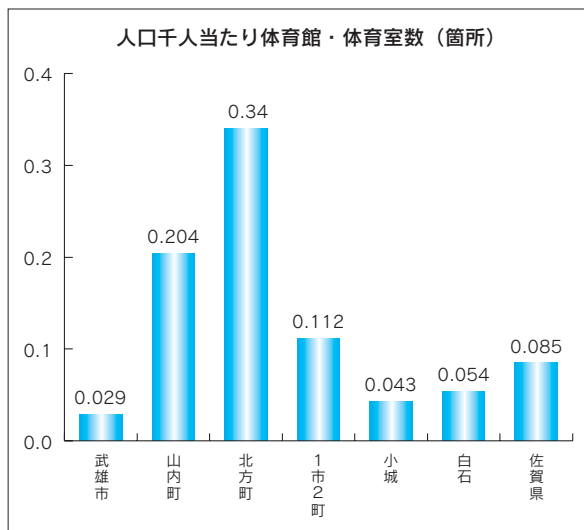
資料：「市町村財政概要」

表 主な文化・スポーツ施設

	文化施設	スポーツ施設
武雄市	・武雄市文化会館 ・武雄市図書館・歴史資料館 ・佐賀県立宇宙科学館	・白岩運動公園 ・天神崎テニスコート
山内町	・山内町中央公民館 ・山内町農村環境改善センター	・山内町中央公園 ・多目的スポーツ広場
北方町	・北方町中央公民館 ・四季の丘資料館	・北方スポーツセンター ・サンスポーツランド北方 ・運動公園グラウンド ・町民プール ・テニスコート

資料：市町資料

図 人口千人当たりのスポーツ施設数（平成14年度）



資料：「市町村財政概要」

(2) 文化財

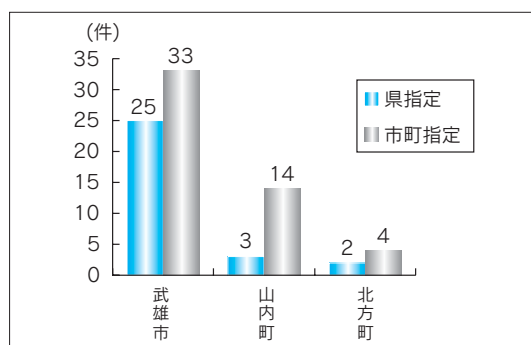
・1市2町は、国指定の重要文化財、県指定、市町指定の文化財が多数あり、伝統芸能等も豊富です。このような地域固有の文化財、伝統芸能などは、保存・継承するための取り組みが必要です。

表 国・県・市・町指定文化財一覧

町 名	指 定	名 称
武雄市	重要文化財	・ 木造四天王立像 4 躯 ・ 武雄神社文書 25 巻
	天然記念物	・ 川古のクス 1 株 ・ かささぎ生息地
	史跡	・ 肥前陶器窯跡 4 ヶ所 ・ 大谷窯跡 ・ 土師場の物原山 ・ 小峠窯跡 ・ 錆谷窯跡 おつぼ山神籠石 1 地域
	重要無形民俗文化財	・ 武雄の荒踊 3 団体 ・ 高瀬の荒踊 ・ 中野の荒踊 ・ 宇土手の荒踊
	登録文化財	・ 如蘭塾塾舎及び寄宿舎 1 棟 ・ 如蘭塾迎賓館 1 棟
山内町	天然記念物	・ かささぎ生息地 ・ かねこしだ自生地
	史跡	・ 肥前磁器窯跡（百間窯跡）
北方町	重要文化財	・ 銅造薬師如来立像 ・ 俱利迦羅龍王碑
	天然記念物	・ カササギ生息地 ・ 大聖寺のまき 4 株
	重要無形民俗文化財	・ 志久七囃子浮立
	重要有形民俗文化財	・ 四季耕作図絵馬 ・ 炭鋤絵馬

資料：市町資料

図 文化財指定件数



資料：市町資料

表 伝統芸能一覧（平成16年）

	地 区 名	内 容	地 区 名	内 容
武雄市	武雄町 武 雄	流鎗馬	朝日町 甘 久	女相撲甚句、銭太鼓、荒踊
	上西山	西谷の蛇踊り	高 橋	高橋神輿
	下西山	鐘・皮浮立、女相撲踊り、流鎗馬	南上滝	こども浮立
	永 松	面浮立	中 野	荒踊、銭太鼓、綾竹
	八 並	鍬踊り、流鎗馬	黒 尾	七福神祭り
	川 良	豊年三助踊り、浮立	川 上	こども浮立
	小 楠	銭太鼓、綾竹	繁 昌	こども浮立
	永 島	女面浮立	若木町 川 内	浮立
	橘 町 二 俣	女相撲取り踊り	武内町 東真手野	舞浮立
	沖 永	鐘・皮浮立	東川登町 袴 野	面浮立
	鳴 瀬	浮立	宇土手	荒踊
	南片白	鐘・皮浮立、女浮立	西川登町 神 六	神六浮立
	大 日	皮浮立	高 瀬	荒踊、綾竹、鐘浮立
	上 野	こども浮立	庭 木	綾踊、鐘浮立
			小田志	鐘浮立
山内町	犬 走	浮立（猪浮立）・荒踊	今 山	浮立
	踊 瀬	浮立・荒踊	黒 髪	浮立
	永 尾	浮立	大 野	浮立
	鳥 海	浮立・荒踊	宮 野	浮立（蛇浮立）荒踊・流鎗馬
	三間坂	浮立（津々良の猪浮立）・荒踊	立野川内	浮立（虎浮立）
	船の原	かんこ踊・浮立		
北方町	焼 米	皮浮立	久津具・北方・馬神	こども浮立
	追 分	皮浮立	芦 原	鉦浮立
	木の元・高野	志久七囃子浮立	医王寺	医王寺五囃子浮立

資料：市町資料

15. 行財政

- ・人口1人当たりの積立金現在高は173千円で県平均（144千円）を上回っていますが、小城地区と比較すると少なくなっています。また、地方債現在高では武雄市が高く、1市2町の平均は県平均に比べ高くなっています。
- ・1市2町の財政力指数は、県平均よりも高く、経常収支率については佐賀県とほぼ同じ水準です。

図 人口1人当たりの積立金現在高(平成14年度末)

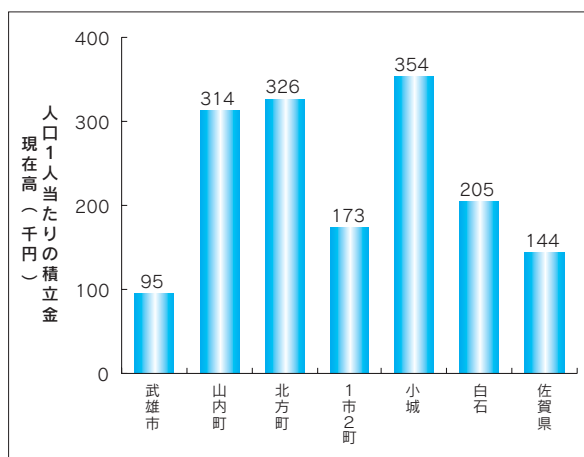


図 住民1人当たりの地方債現在高(平成14年度末)

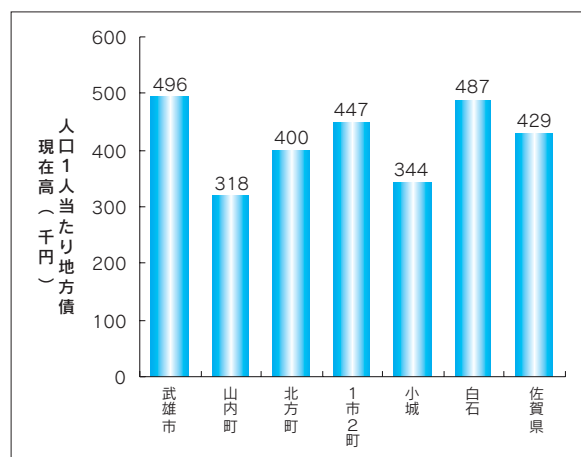


図 財政力指数(平成14年度末)

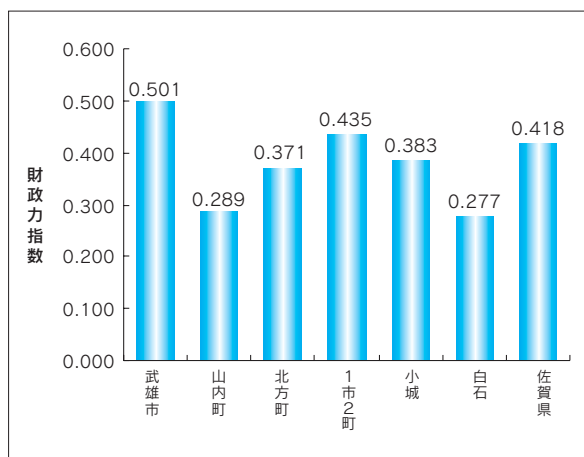
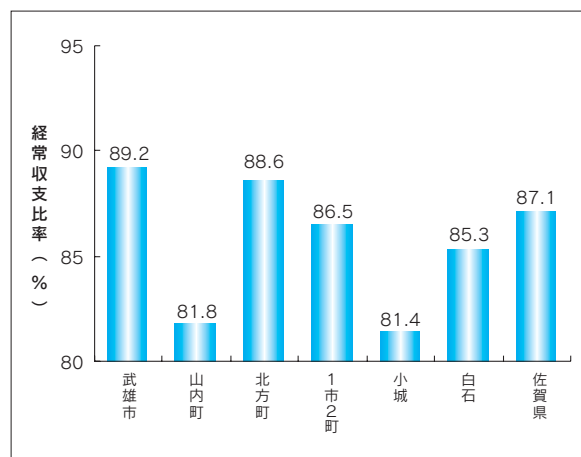


図 経常収支比率(平成14年度末)



資料：「市町村財政概要」

16. 1市2町の現状把握からみた主な問題点

1. 人口構造

1市2町の人口は、昭和60年をピークに減少傾向となっています。平成12年では老年人口の比率が県平均を上回っており、高齢化が進行しています。このため、まちの活力が減退していくことが懸念されます。

2. 地域構造

1市2町での往来は活発で、武雄市を中心に日常生活圏が形成されています。また、1市2町は広域交通の要衝の地であり、将来には九州新幹線長崎ルートを整備が予定され、通勤圏域が拡大することから、交流人口が増加すると考えられます。

3. 土地利用

1市2町は豊かな自然に恵まれています。災害、河川の氾濫等による家屋・農業施設の被害が発生しやすい地域でもあります。このため、自然環境の保存・保全を図り、治山治水事業による災害防止に努めることが求められます。

4. 情報通信基盤

1市2町ともCATVが整備され、情報通信基盤は高い水準となっています。今後は、これらを活用した住民サービスの提供が求められます。

5. 生活環境

上水道について、1市2町では料金面での格差があります。また、全体で生活排水処理施設整備普及率が低く、普及率の向上が課題です。

6. 産業構造

1市2町では、就業人口の減少が見られ、まちの活力づくりの担い手不足が懸念されます。また、第1次産業では後継者不足が問題となっています。

7. 農業

農家数、農業人口、農業粗生産額のいずれも減少しています。また、農家1戸当たりの農業粗生産額は県平均を大きく下回っており、経営効率が低くなっています。

8. 工業

事業所数、従業員数が減少しています。また、人口1人当たりの工業出荷額等は県平均を大きく下回っています。

9. 商業

1市2町全体では、人口1人当たりの小売販売額は、県平均を上回っていますが、商店数は減少し、従業員数、販売額は増加しています。これは、武雄市への大型商業施設の進出などによるものと考えられます。また、郊外型の商業施設の進出等により、武雄市の中心市街地は空洞化が進行しています。

10. 観光

観光客数は平成8年以降増加傾向にありましたが、平成12年からは減少傾向にあります。今後は、温泉、自然資源などの活用の方法などについて検討し、長崎自動車道、九州新幹線長崎ルートなどの交通の優位性を活かした観光の振興対策が必要です。

11. 医療・保健

人口当たりの病床数、医師数はともに県平均を下回っており、また、1市2町間で格差もみられます。誰もが安心して地域で暮らせるための環境整備が課題となります。

12. 福祉

高齢化が進む中で福祉サービスの充実が課題です。保育所施設充足率は1市2町全体で98.7%と高くなっています。また、多様な保育ニーズに対応するため、特別保育等の充実が求められます。

13. 学校教育

校舎の老朽化などにより改修・改築が必要な小学校、中学校校舎・施設があります。

14. 生涯学習・文化

図書館は武雄市のみ整備されています。1市2町の1人あたりの蔵書数は、2.2冊で県平均の水準となっています。スポーツ施設は、各市町ともにすでに整備が進んでいますが、整備施設の内容に市町間で違いが見られます。

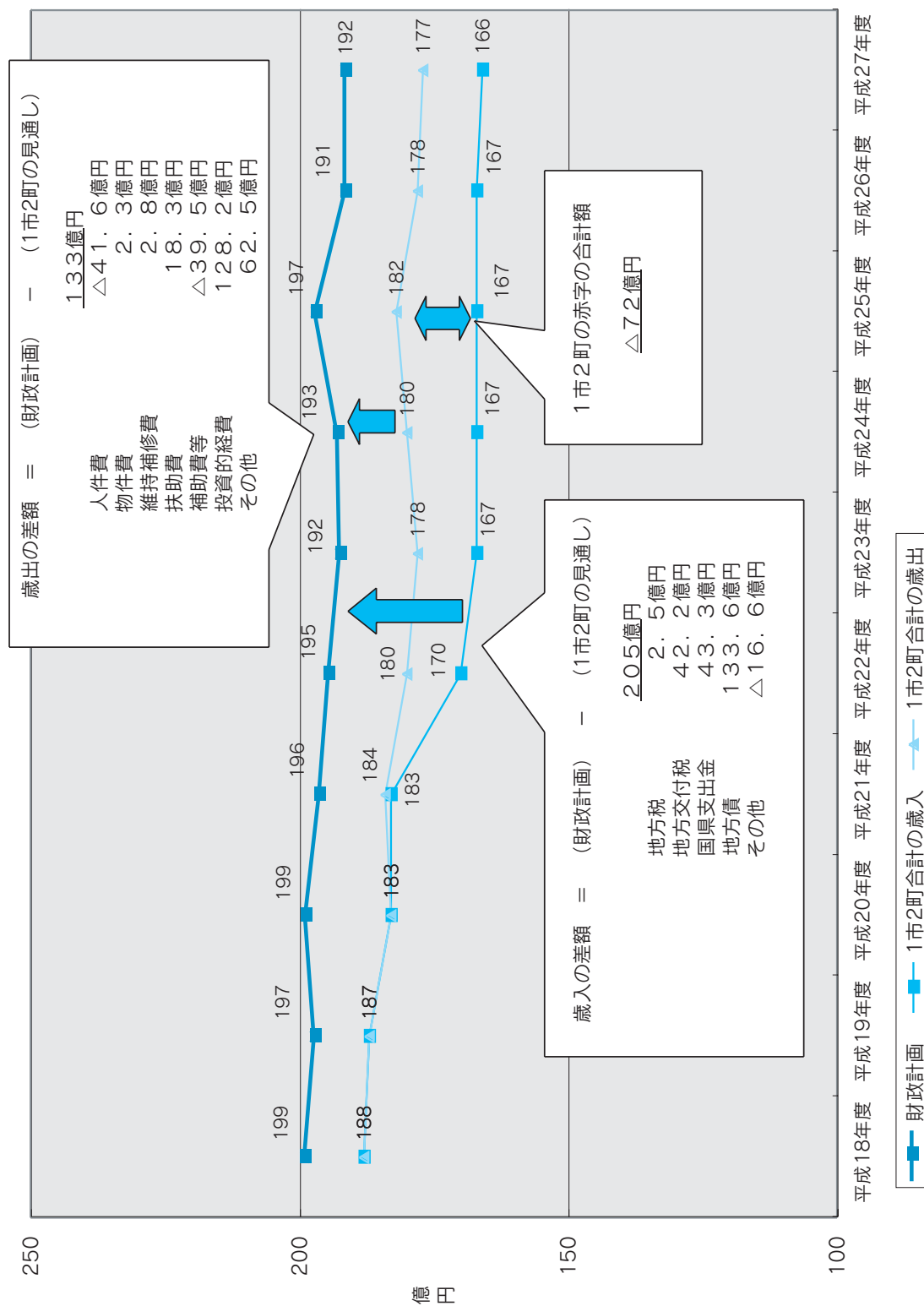
15. 行財政

- ・ 1市2町の財政力指数は0.435であり、十分な財政力を有しているとはいえません。
- ・ 1市2町の経常収支比率は80%を超えており、財政の硬直化が進んでいるといえます。

Ⅱ. 財政計画策定資料

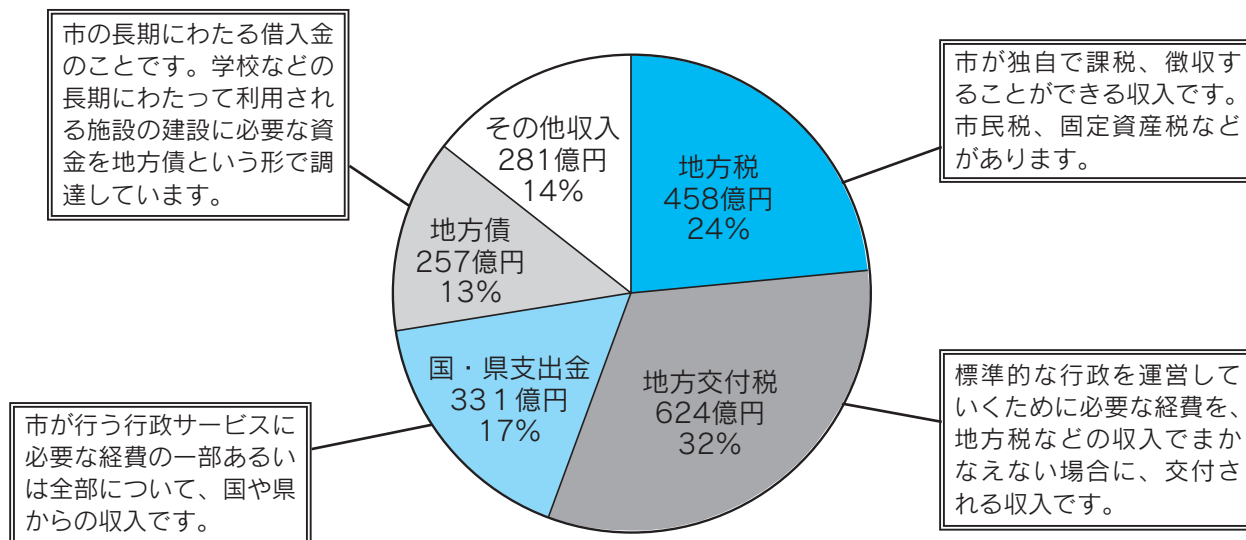
1. 合併の効果

(1) 財政計画と合併しない場合との歳入・歳出の比較（平成18年度～平成27年度）

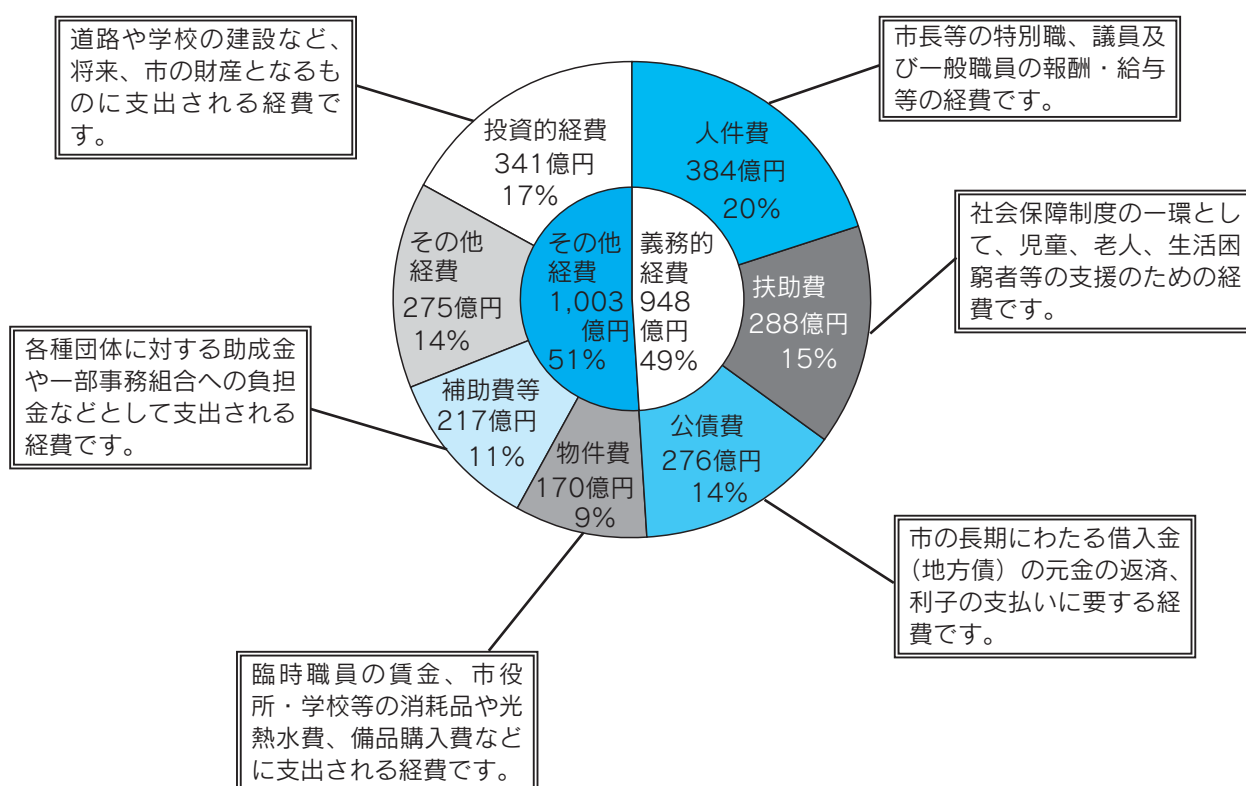


(2) 合併後10年間の歳入・歳出の合計額の内訳

歳入総額 1,951億円



歳出総額 1,951億円



新市建設計画

発行／武雄市・山内町・北方町合併協議会

〒843-0022 武雄市武雄町大字武雄5538番地 1

T E L (0954)26-0367

F A X (0954)23-5101

ホームページ <http://www.tyk-gappei.jp>

編集／武雄市・山内町・北方町合併協議会事務局
平成17年2月発行
